

No.6 >>> Contents

●提携支援センターから

平成 21 年度第 1 次分「提携システム確立 2 グループ」を承認	1
20 年度蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業実施の概要	5
蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業（条件整備事業）の実施状況について	9
支援センター活動日誌No.6	12

●今月の話題

養蚕の現場から－ 20 年度養蚕成績と今後の課題等－ 全国農業協同組合連合会 園芸農産部 特産販売課 筧 文平	13
--	----

●国内情報

室町・西陣和装市況 「聞きある記」 (財) 京都産業 21 北部支援センター	16
---	----

●海外情報

中国シルク事情	18
-------------------	----

●トピックス

国内産地情報、海外情報（中国）	22
---------------------------	----

●シルク豆辞典

シルクの豆辞典（21）故 事・農 諺（1）－ 苞桑の戒め － 信州大学名誉教授 嶋崎 昭典	25
--	----

●イベント情報 28

●登録コーディネーター一覧 29

●蚕糸関係博物館一覧 32

●蚕糸関係団体ホームページ一覧 33

●統計資料 35

（統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。）

平成 21 年度第 1 次分「提携システム確立 2 グループ」を承認

平成 21 年 4 月 2 日、蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業の一環として、第 3 回事業推進委員会（委員長：林 良博東京大学大学院教授）を東京都千代田区有楽町蚕糸会館で開催しました。同委員会は、外部の委員 5 名で構成され、提携システム確立グループとして、承認の可否について審議しました。

その結果、平成 21 年度第 1 次分として、下記の通り、2 グループを平成 21 年 4 月 24 日付けで事業承認しました。

この結果、平成 21 年 4 月 24 日現在、8 グループが承認されることとなりました。

平成 21 年度提携システム確立グループ一覧

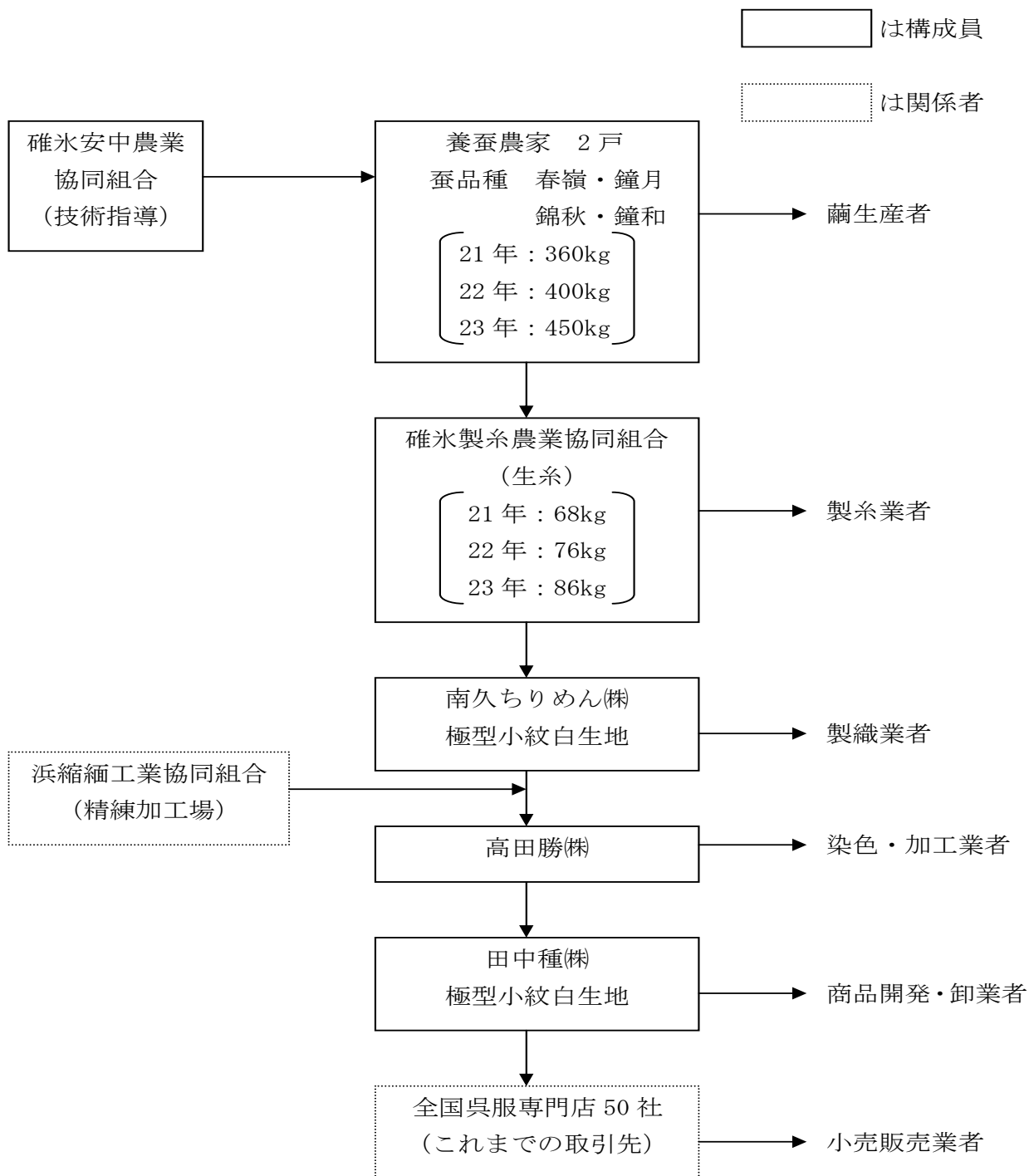
平成 21 年 4 月 23 日現在

年度	提携グループ名	構成者（団体等）	対象繭生産地 （平成 21 年度 対象繭数量）	特徴等 （産地、蚕品種 etc）	備 考
H21 承認	日本の繭ときもの文化を考える会 （代表：田中種株式会社）	養蚕農家（2 戸） 碓氷製糸 南久ちりめん 高田勝 田中種	群馬県（360 kg） 春 180 kg・晩秋 180 kg	蚕品種：春嶺×鐘月、 錦秋×鐘和 （体系図別記 1 参照）	06-6261-2091
H21 承認	群馬絹文化研究会 （代表：有限会社 ミラノリブ）	養蚕農家（4 戸） 碓氷製糸 東北燃糸 今井染色 ミラノリブ	群馬県（1,000 kg） 春 1,000 kg	蚕品種：ぐんま 200 （フローチャート別記 2 参照）	0277-20-8801

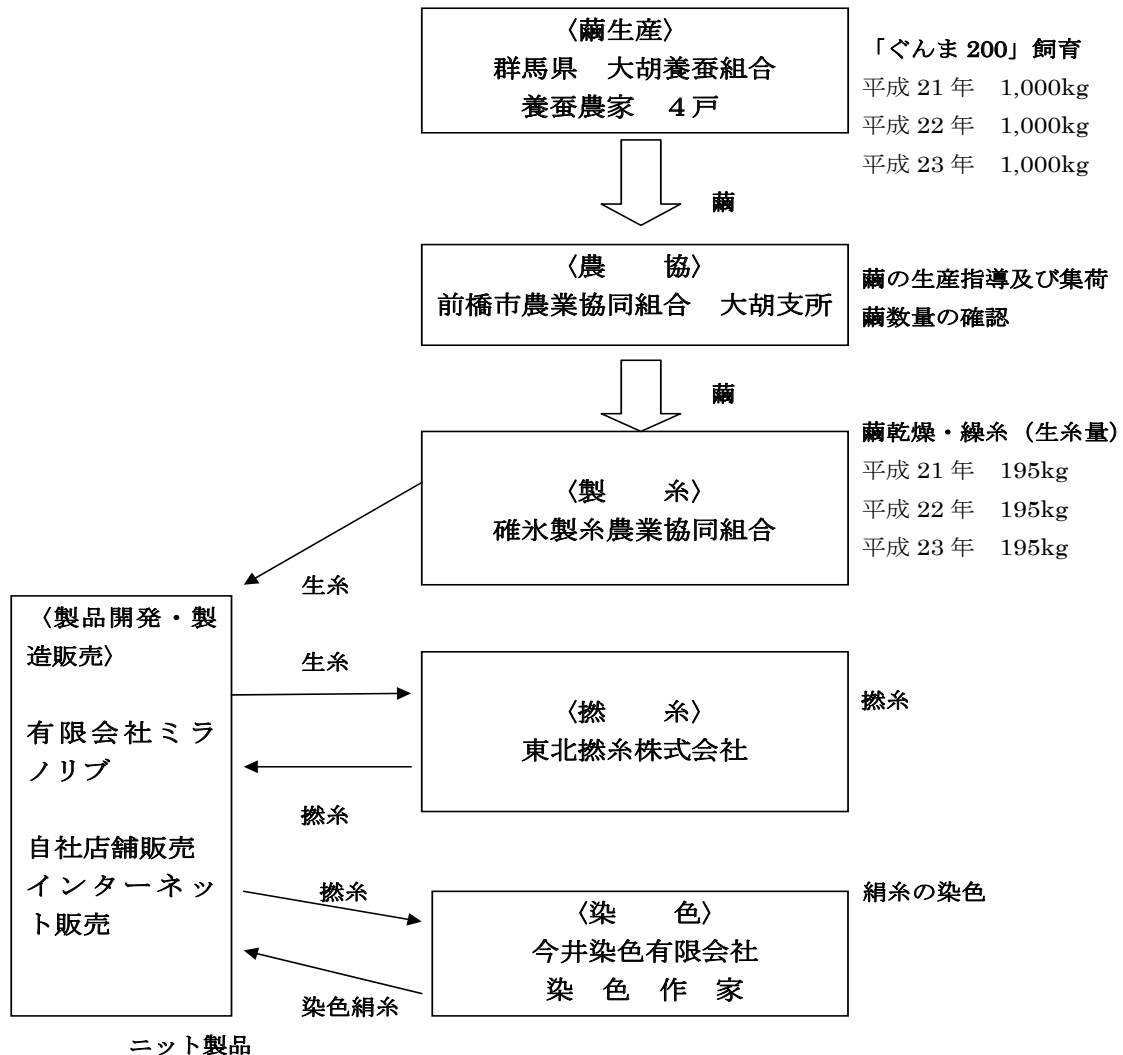
※構成者の下線は、各提携グループの代表者（企業等）であり、備考に連絡先の電話番号が記されています。

純国産提携グループシステムの全体の体系図

(日本の繭ときもの文化を考える会)



群馬絹文化研究会フローチャート



(参考) 提携システム確立グループ一覧

平成 21 年 4 月 23 日現在

年度	提携グループ名	構成者 (団体等)	対象繭生産地 (実績) (平成 20 年産 対象繭数量)	特徴等 (産地、蚕品種 etc)	備 考
H19 承認	グループ 167	養蚕農家 (4 戸) 宮坂製糸 織道楽塩野屋 両双 ウェイズ	京都 (245.6 kg) 春 88.5 kg 初秋 73.1 kg 晩秋 84.0 kg	蚕品種: 緑繭 1 号、黄白 副産物 (蚕沙、幼虫、蛹等) の有効利用	075-461-1995
H19 承認	白繭細 1 号プロジェクト 開発チーム	高原社 養蚕農家 (11 戸) 碓氷製糸 宮坂製糸 芋田機業場 五十嵐商事 龍工房 矢代仁 木村和哉 三越 マルシバ	長野 (1,472.2 kg) 春 843.0 kg 晩秋 629.2 kg	蚕品種: 白繭細 1 号	03-3662-2431
H19 承認	“絹を未来に” ブラチナボーイ研究会	養蚕農家 (8 戸) 碓氷製糸 芋田機業場 五十嵐商事 銀座もとじ マルシバ	千葉・茨城 (1,809.6 kg) 春 925.8 kg 晩秋 883.8 kg	雄蚕品種: ブラチナボーイ 男物の着物及びその関 連製品	03-3662-2431
H19 承認	日本蚕糸絹業開発協同組合 国産シルク研究会	養蚕農家 (120 戸) 碓氷製糸 丸進機業 カブト 山直織物 坪金工業 南久ちりめん ワタマサ 江島屋染工場 絹小沢	群馬 (23,750.6 kg) 春 13,890.5 kg 晩秋 9,860.1 kg	蚕品種: 群馬オリジナル品種 (ぐんま 200、新小石丸、 世紀二一、上州絹星、 ぐんま黄金)	027-361-2311
H20 承認	蚕太開発グループ	養蚕農家 (8 戸) 碓氷製糸 マユズミ 門倉メリヤス 蜂須メリヤス 贅田シルク JA 北群馬渋川 JA 前橋	群馬 (665.1 kg) 春 665.1 kg	蚕品種: 蚕太 ニット製品等	027-231-6586
H20 承認	富岡シルクブランド協議会	養蚕農家 (21 戸) 碓氷製糸 宮坂製糸 富岡市長 富岡製糸場 JA 甘楽富岡 個人作家 (7 人) 甘楽富岡蚕桑研究会 富岡シルクタンパク研究会 繭家	群馬 (5,857.5 kg) 春 2,771.9 kg 晩秋 3,085.6 kg	蚕品種: ぐんま 200、 錦秋鐘和	0274-64-0005

※構成者の下線は、各提携グループの代表者（企業等）であり、備考に連絡先の電話番号が記されています。

20 年度蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業実施の概要

1 提携システム構築のコーディネート事業

- (1) 蚕糸・絹業提携システム全国推進協議会の開催（平成 20 年 4 月 17 日、平成 21 年 2 月 24 日（表 1 委員名簿参照））
- (2) 蚕糸・絹業における情報の収集・提供活動
 - ・ 蚕種製造、養蚕、製糸、製織、流通・小売り関係者等への情報収集・提供の実施（パンフレット 2 種作成，配布等）
 - ・ シルク情報誌（シルクレポート）の発行（7 月から隔月発行）
 - ・ ホームページの充実等（コーディネーターハンドブック、本事業の Q & A の作成と HP への掲載等）
- (3) 提携システム構築に関する相談活動
 - ・ J A、製糸団体、産地織物工業組合、織物卸商業組合、呉服専門店組合等関係団体やコーディネーター等の説明会の開催及び個別相談等への対応（事業説明会等へ職員の派遣・出席）
- (4) 蚕糸・絹業情報交換会の開催
 - ・ コーディネーター推進会議の開催（7 月、8 月開催）
- (5) コーディネーターの登録・派遣
 - ・ コーディネーターの登録 1 0 1 名（19 年度 23 名、20 年 78 名、計 101 名）
 - ・ コーディネーター活動への支援（提携グループ構築に向けた活動に対する助成）

2 提携システム構築のバックアップ事業

- (1) 特殊繭の生産に関する研修会及び指導の実施
 - ・ 中央研修会（事業推進会議（11 月）、養蚕成績検討会（1 月）等を通じて実施）
 - ・ 地方研修会（宮城、福島、栃木、群馬、長野、愛媛の各県で実施）
- (2) 養蚕資材の安定供給対策の整備
 - ・ 養蚕資材の現状分析（全農へ委託して現状調査を実施。現在、取りまとめ結果を基に、HP による養蚕資材等の情報提供と供給システムの構築について検討）
- (3) 純国産絹製品の試作・展示会の開催及び P R 活動の実施

-
-
- ・（社）日本絹業協会に委託して、試作及び純国産シルク企画製品展をジャパンシルクセンターにて実施
 - ・百貨店等（東京（7月、11月）、大阪（3月））で日本の絹展等を開催し、純国産絹製品、純国産絹マーク等のPR活動を実施

(4) 純国産絹マークの制作、承認、配付、普及及び管理の実施

- ・（社）日本絹業協会に委託して純国産絹マークを20年3月に制定するとともに、純国産絹マーク審査委員会の開催、純国産絹マークの配付及びPR、純国産絹マークの使用実態調査等を実施（純国産絹マークは、21年3月末現在、54業者101表示対象製品を承認）

(5) 純国産絹製品市場動向調査

- ・（株）東レ経営研究所に委託して実施（純国産絹の消費動向等調査（製糸、糸流通業者、機屋等アンケート、ヒアリング等）

3 稚蚕の安定供給

事業対象8県19稚蚕共同飼育所において事業実施（対象箱数：7,324.3箱）

① 岩手県南農業協同組合

- ・1飼育所（岩手南農協花泉稚蚕共同飼育所、268.2箱）

② 宮城県養蚕産地育成協議会

- ・2飼育所（仙南、大内（丸森）57箱）（仙北、（志津川）153.5箱）、計210.5箱

③ 福島県優良繭生産推進協議会

- ・2飼育所（持藤田（都路村）838.8箱）、青木（新福島）262.1箱（計1,100.9箱）

④ 栃木県養蚕産地育成協議会

- ・2飼育所（JA小山稚蚕共同、593.75箱）、JA那須南稚蚕人工402.5箱）

（合計996.25箱）

⑤ 群馬県養蚕産地育成協議会

- ・9飼育所（前橋2、はぐくみ農協1、碓氷安中1、甘楽富岡1、小川1、上沼1、倉沢1、影沢1）

（合計4,644.75箱）

⑥ 千葉県養蚕産地育成協議会

- ・1飼育所（41箱）（東金市稚蚕共同飼育所）

⑦ J Aながのさいがわ営農センター

- ・1飼育所（25.2箱）（長野市七二会）

⑧ 熊本県蚕糸振興協力会

- ・1飼育所（37.5箱）（下益城郡東部稚蚕人工飼育センター（下益城郡豊野町））

4 機械・機材整備への助成

以下の4製糸事業者で事業の実施

- ① 碓氷製糸農業協同組合
 - ・特殊細織度用繰糸機の設置
- ② 松岡株式会社
 - ・自動繰糸機（冷水ユニット）の設置
- ③ 株式会社宮坂製糸
 - ・小ロット対応型繰糸機、小ロット対応型煮繭機及び繰糸機（揚返部ユニット）の設置
- ④ 松沢製糸所
 - ・細織度対応型繰糸機の設置、ビス・蛹分離巻取特殊繰糸機の設置

5 提携システム確立グループへの助成

(1) 19年度承認分（平成20年3月3日 第1回事業推進委員会）

- ① グループ167（織道楽 塩野屋）
 - ・繭生産量（245.6kg）、（蚕品種：緑繭1号（都浅黄）、黄白（雌が黄、雄が白）
 - ・繭生産地：京都府
 - ・製品：マフラー、シャツ、靴下、腹巻き、手袋、ウオーマー
- ② 白繭細1号プロジェクト開発チーム（株式会社マルシバ）
 - ・繭生産量（1,472.2kg）、（細織度蚕品種：白繭細1号）
 - ・繭生産地：長野県
 - ・製品：着物
- ③ "絹を未来に" プラチナボーイ研究会（マルシバ）
 - ・繭生産量（1,809.6kg）（蚕品種：プラチナボーイ）
 - ・繭生産地：茨城県、千葉県
 - ・製品：プラチナボーイを使った男物着物（結城紬、大島紬等）及び関連製品
- ④ 日本蚕糸絹業開発協同組合同産シルク研究会（絹小沢）
 - ・繭生産量（23,750.6kg）（群馬県育成蚕品種：ぐんま200、新小石丸、上州絹星、世紀21、ぐんま黄金）
 - ・繭生産地：群馬県
 - ・製品：胴裏絹、白生地、黒紋付、八掛等

(2) 20年度承認分（平成20年4月22日 第2回事業推進委員会）

- ① 蚕太開発グループ（門倉メリヤス）

- ・繭生産量 665.1kg、(太織度蚕品種：蚕太)
- ・繭生産地：群馬県
- ・製品：ニット製品（ジャケット、セーター、パンツ、ボウシ、カーディガン）

② 富岡シルクブランド協議会

- ・繭生産量 (5,857.5kg)、(蚕品種：一般蚕品種（ぐんま 200、錦秋・鐘和）)
- ・繭生産地：群馬県
- ・製品：(まゆパフ、スカーフ、ハンカチ、つるるんタオル、美術工芸品、繭クラフト、おみやげまゆ・生糸等市内の消費を中心に多様なアイテムを展開)

6 養蚕経営の支援（繭代補填）

(表1 蚕糸・絹業提携システム全国協議会委員名簿)

(平成21年2月24日)

実績

春蚕	126,536kg
初秋蚕	96,058kg
晩秋蚕	123,787kg
計	346,382kg

委員氏名	所 属 ・ 役 職 名
天羽 隆	農林水産省生産局生産流通振興課長
間宮 淑夫	経済産業省製造産業局繊維課長
赤羽 正康	全国蚕種協会会長
秋田 俊毅	全国農業協同組合連合会常務理事
糟谷 範子	(財)伝統的工芸品産業振興会常務理事
嵐田 道雄	米沢織物工業組合理事長
碓山 俊光	西陣織工業組合専務理事
石井 良彦	東京呉服専門店協同組合代表理事
市川 駿	(社)日本アパレル産業協会顧問
笠原 直	五泉織物工業協同組合理事長
江原 毅	桐生織伝統工芸士会会長
江村 察夫	日本きもの連盟副会長
小澤 淳二	京都織物卸商業組合理事長
狩野 寿作	全国蚕糸行政連絡協議会会長
小島 伸一	(社)日本絹人織織物工業会専務理事
佐々木 亮一	(社)全日本きもの振興会専務理事
佐藤 康徳	(財)日本真綿協会会長
嶋田 喜四郎	日本織物中央卸商業組合連合会常務理事
島田 俊弘	中央蚕糸協会顧問
上達 征次	東京織物卸商業組合副理事長
鈴木 重雄	山形県製糸協会会長
高村 育也	全国製糸連絡協議会会長
棚町 敦子	アシェット婦人画報社美しいキモノ編集長
手塚 本衛	全国蚕種協会理事
富田 篤	全国染色協同組合連合会専務理事
西 文秀	(社)日本絹業協会専務理事
西田 光宏	日本全国百貨店協会企画開発部長
長谷 幸治	浜縮緬工業協同組合理事長
樋口 泰三	(社)日本生糸問屋協会会長
松沢 正	全国国用製糸協会会長
松村 俊幸	横浜シルクローズ会長
宮坂 照彦	全国国用製糸協会副会長
渡邊 隆夫	(社)日本絹人織織物工業会会長
渡邊 正義	丹後織物工業組合 理事長
高木 賢	(財)大日本蚕糸会会頭 (蚕糸・絹業提携支援センター長)

(名簿：アイウエオ順)

蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業（条件整備事業） の実施状況について

平成 20 年度の蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業（純国産絹製品づくり条件整備事業）の実施により、提携システム構築とその推進に向けて取り組んでいる製糸事業者の事業内容の概要について紹介する。

1 平成 20 年度の事業実施の概要

提携システム構築とその推進を図る上で、絹業者からの多様なニーズに応えていくためには、多種・多様で、かつ、小ロットの生産ができるような生糸の生産体制が必要であり、このためには、繰糸機及び煮繭機等の生糸製造設備の新設・改良等が必要不可欠となることから、各製糸業者から独自の事業実施計画の希望が出され、蚕糸・絹業提携システム形成支援（純国産絹製品づくり条件整備事業）を活用して、製糸 4 業者による具体的な取組が行われた。

製糸 4 業者の事業実施に当たっての共通点としては、いずれの事業者とも、蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業の目的である、国産繭・生糸の特長を生かし、生産履歴を明らかにした高品質な純国産絹製品の生産・販売を目指す提携グループの中核者としてグループ活動に参加し、高品質、あるいは蚕品種の特長をとらえたブランドシルクの生産等多種・多様な絹のニーズに対応できる生糸生産が可能となる製糸関係設備に整備することをねらいとしている。

また、蚕糸・絹業を通じた提携グループの形成により純国産絹製品づくりを推進し、その生産・販売活動の中から、再生産が可能な繭代や生糸、絹織物、染色等の加工代を支払える体制を確立することが本事業の最終目的であり、この提携システムの中核者の一員として推進活動を図っている。

2 製糸 4 事業者の事業実施の概要

(1) 碓氷製糸農協の取組

碓氷製糸農協は、繭の主産地群馬県（安中市）に位置していることから、群馬県において開発育成された特長あるブランド蚕品種を用いた高級生糸「ぐんまシルク」（世紀 21 他 6 品種）、及び既存の蚕品種を用いた高級生糸の生産とともに、小石丸、プラチナボーイ等の高級ブランドシルクの生産に取り組んでいる。

提携システム構築・推進が求められる中で、ニーズの多様化に対応した糸づくりが求められるとともに全体として荷口の小ロット化が進展してきており、更に高級絹織

物志向が高まる中で、細繊維生糸や特殊蚕品種等ブランドシルクの生産が求められるてきている。

このような情勢の変化に対応して需要に応じた生糸を提供していくため、蚕品種、繭産地、蚕期等ロット毎に異なった煮繭条件、繰糸条件を設定し、ニーズの多様化に対応できる多様な生糸生産が可能となる製糸機械等の整備が必要となってきた。このため、20年度は新たなニーズとして需要がたかまっている極細高級生糸の生産に対応できる特殊繊維用の繰糸機等を整備する生産体制の整備が図られた。



写真1 碓氷製糸の特殊繊維用繰糸機

(2) 松岡株式会社の取組

松岡株式会社は、多様化する絹需要に対応するため高品質生糸の生産とともに、「松岡姫」等の高級ブランドシルクを中心とした生糸生産に取り組んでいる。

提携システムの構築・推進が求められる中で、従来以上に高級化・ブランド化が求められており、荷口の小ロット化、多品種化が進む中で、蚕品種、地域別等小ロット化された荷口毎の特長を生かした製品（生糸）作りが重要な課題となっている。

小ロット荷口は、荷口毎に煮繭・繰糸条件等が異なることから、繰糸作業の準備等に手間取り、煮繭した繭が当日繰糸できないことも生じ、このことは、一度煮繭された繭は、セリシンが溶解しやすく、生糸品質（節成績）の低下に大きく影響していることが懸念されていた。

このための対策として、セリシンの溶解度は低温になるほど遅くなること、また、冷水中の繭は腐敗が遅いこと等から、本事業において繰糸機に冷水設備ユニットを設置し、高品質なブランドシルクの生産が可能な繰糸設備として整備された。



写真2 冷水設備を連結した松岡の繰糸機

(3) 株式会社宮坂製糸所の取組

宮坂製糸所は、多様化する絹需要の中で、昔ながらの諏訪式・上州式の座繰機により、節やむらがあり、手触りの柔らかい独特の風合いをもっている生糸や、玉糸、太繊度低張力糸等独自の伝統的な糸づくりを通じて、オリジナル生糸の供給を図ってきている。

一方、提携システムの構築とその推進が図られる中で、特殊蚕品種を用いた生糸生産や養蚕農家が特定された小ロット生産にも対応できる施設に整備するため、本事業において、真空式小型煮繭機及び小ロット対応型繰糸機（F R 型）等の生産設備が整備された。



写真3 宮坂製糸の小ロット対応型繰糸機

(4) 松沢製糸所の取組

松沢製糸所は、従来、42 中等の太繊度生糸の生産をしてきたが、提携システムの構築とその推進が求められる中で、新たに地域ブランドを活かした提携グループに中核者として参画するため、国産繭・生糸の希少性を活かした高品質な純国産絹製品づくりに対応できる生糸の生産体制の整備が求められることとなった。

このため、本事業において、21 中等の細繊度の高級生糸の生産が可能なH R 型自動繰糸機等を導入し、高品質な高級ブランド生糸の生産にも対応できる生糸生産設備が図られることとなった。



写真4 松沢製糸のHR型自動繰糸機

平成 20 年度蚕糸・絹業提携システム形成支援事業 (純国産絹製品づくり条件整備事業（うち機械、機材の整備事業）) の実施概要

製糸業者	導入整備した機械、機材
碓氷製糸農協	極細用特殊繊度用繰糸機（H R - 2 型）の設置
松岡（株）	自動繰糸機（冷水設備ユニット）の設置
（株）宮坂製糸所	真空式小型煮繭機、小ロット対応型繰糸機（F R 型）の設置等
松沢製糸所	H R 型自動繰糸機、ビス・蛹分離特殊型繰糸機の設置

支援センター活動日誌No.6 (H21.3.1 ~ H21.4.30)

年月日	活 動 内 容 等
21.3.2	純国産絹マークの管理状況実態調査（静岡）
21.3.3 ～ 21.3.4	高島屋「日本の絹展」打合せ及び純国産絹マーク展示コーナー設置打合せ（大阪、京都）
21.3.4	純国産絹マークの管理状況実態調査（東京）
21.3.4	純国産絹マークの管理状況実態調査（京都）
21.3.4 ～ 21.3.6	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業説明会 純国産絹マークの管理状況実態調査等（京都）
21.3.5 ～ 21.3.6	純国産絹マークの管理状況実態調査（青森）
21.3.5	純国産絹マークの管理状況実態調査（岩手）
21.3.9	純国産絹マークの管理状況実態調査（東京）
21.3.11	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業説明会（東京）
21.3.12	純国産絹マークの管理状況実態調査（横浜）
21.3.12	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業に係る 事業実施事業者への事業遂行状況等の現地調査（群馬）
21.3.13	純国産絹マークの管理状況実態調査（福島）
21.3.14	純国産絹マーク展示コーナーの除幕式（群馬県立日本絹の里）
21.3.27 ～ 21.3.29	純国産絹マークの管理状況実態調査（東京）
21.4.2	第3回事業推進委員会
21.4.10 ～ 21.4.11	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業説明会（宮崎）

養蚕の現場から－20年度養蚕成績と今後の課題等－

全国農業協同組合連合会 園芸農産部
特産販売課 寛 文平

1. 繭の販売先

平成20年の繭流通については、全農として「蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業」を推進する一方、繭代補てん事業を活用しつつ従来の製糸業者をはじめとした取引先に販売してまいりました。

販売先は8社（山形県・松岡株式会社、群馬県・碓氷製糸農協、長野県・宮坂製糸所および松沢製糸所、埼玉県・(有)コバヤシ、真綿需要者として福島県真綿協会および近江真綿振興会（滋賀県）、野村シルク博物館）に対して販売しました。

併せて、化粧品の素材である「パフあるいはコットン」への用途として平面繭、副蚕糸の緒糸等の販売を推進しました。

この平面繭の製造については新潟県の特許であるため、県の許諾を得て栃木県および茨城県で本年度試験的に製造したものです。

2. 繭生産・価格等の実績

平成20年度における全国の繭生産状況は、春蚕期145.7t（前年比84.1%）、初

秋蚕期96.1t（前年比87.7%）、晩秋蚕期139.0t（前年比94.1%）、合計380.8t（前年比88.5%）が生産され、全量が契約締結されました。

なお、上記380.3tのうち提携グループで消費された繭は33.2t（春18.4t、初秋0.1t、晩秋14.7t）でした。

蚕期ごとの繭生産状況等は、以下のとおりです。（別表参照）

（1）春蚕期

都県別に見ると、青森県、宮城県、高知県は、生産量が少ないながらも増加した一方、生産量上位5県（群馬、福島、埼玉、栃木、茨城）は、いずれの県も減少しました。これは、関東、東北地域で日照不足による桑の伸びが足りなかったことも要因の一つです。

繭の品質では、1,900円以上の優良繭の割合が62%、このうち2,000円を超える高品質繭の割合は61%でしたが、前年に比べ16%も下回る結果となりました。

（２）初秋蚕期

初秋蚕期の生産状況は、高温環境であったため作柄は大きく落ち込むと共に、繭品質および収繭量の低下が見られました。

特に、2,000 円以上の繭の比率は、昨年に比べ 26 % も下回る 17 % にとどまりました。

（３）晩秋蚕期

昨年同様に飼育期間中（９月）の気象が高温で推移したことにより、飼育期間（食桑日数）が短くなる傾向がみられました。このため、単繭重（繭 1 個あたりの重量）が小さくなり、収繭量が減少しました。

（４）繭価格

蚕期別の繭価格については、上記（１）～（３）にある要因等により、前年を若干下回る実績となりましたが、晩秋蚕期にあっては前年とほぼ同様の成績となりました。

※繭価格の単純加重平均（消費税込価格）

- ①春 蚕 期：2,045.3 円（前年対比 99.6 %）
- ②初秋蚕期：1,904.9 円（前年対比 98.8 %）
- ③晩秋蚕期：2,035.2 円（前年対比 100.4 %）
- ④年間平均：1,955.1 円（前年対比 99.6 %）

また、一般に優良繭（販売価格 1,900 円以上）と言われる繭生産数量の分布は以下の通りとなりました。

	繭代 2,000 円以上	繭代 1,900 ～ 2,000 円
春蚕期	6 1 %	1 %
初秋蚕期	1 7 %	3 2 %
晩秋蚕期	8 5 %	3 %

４．養蚕現場での課題等

全農による繭販売を行うにあたり、全国の繭生産地では、いくつかの課題が提起され、これに対する対応策の検討が急がれています。

（１）稚蚕共同飼育体制の整備

蚕作安定の重要な技術として、稚蚕共同飼育があります。現場では、この稚蚕共同飼育所の運営にいくつかの課題があります。

経営的には、掃立箱数の減少に伴い、稚蚕共同飼育所の稼働率の低下と飼育経費のアップにより、運営経費の収支バランスが崩れ始めています。

また、稚蚕共同飼育所施設が老朽化し、運営母体（主に農協が運営しています）の負担が増してきています。この点については、本年度から、財団法人大日本蚕糸会の蚕糸絹文化活性化推進事業による支援が得られることとなりました。

（２）繭の出荷体制

繭の販売については、上述の通り、各社へ販売していますが、繭の集荷、出荷のロットが小さくなりつつあり、流通の非効率化があります。繭は常温においておくと、蛾が出て繭の商品価値がなくなるため、適期に収繭し、出荷する必要があります。このため、繭出荷数量は小口化し、経費負担が高まってきています。

（３）養蚕用資材の安定供給

養蚕農家が使用する養蚕用資材について

は、特殊なものが多く、かつ製造体制が弱体化しています。このため、いくつかの資材については、安定供給体制の確立が求め

られています。蚕糸・絹業提携支援センターのご協力を得て、早急な対応を行うこととしています。

平成 20 年度繭生産量第 5 回目調査結果（全農集計に財団法人大日本蚕糸会蚕糸・絹業提携支援センター集計分を加えた数値）

平成 20 年 12 月 15 日現在（単位：kg、%）

都府県等	春 蚕 期			初 秋 蚕 期			晩 秋 蚕 期			年 間		
	19 年	20 年	前年対比	19 年	20 年	前年対比	19 年	20 年	前年対比	19 年	20 年	前年対比
青森県	212.1	226.3	106.7%	189.5	165.0	87.1%	150.0	138.1	92.1%	551.6	529.4	96.0%
岩手県	2,947.4	2,767.2	93.9%	4,516.9	4,014.2	88.9%	4,432.0	4,169.4	94.1%	11,896.3	10,950.8	92.1%
宮城県	4,234.3	4,373.5	103.3%	3,865.2	3,661.3	94.7%	3,984.3	4,306.4	108.1%	12,083.8	12,341.2	102.1%
秋田県	0.0	0.0	—	185.6	186.0	100.2%	295.5	285.3	96.5%	481.1	471.3	98.0%
山形県	2,884.5	2,188.4	75.9%	1,491.8	1,256.8	84.2%	2,655.4	2,163.4	81.5%	7,031.7	5,608.6	79.8%
福島県	19,525.7	18,099.0	92.7%	16,371.1	14,171.6	86.6%	20,667.7	19,158.9	92.7%	56,564.5	51,429.5	90.9%
茨城県	7,642.5	5,778.0	75.6%	4,591.1	3,809.0	83.0%	5,622.5	4,651.8	82.7%	17,856.1	14,238.8	79.7%
栃木県	15,591.7	14,781.6	94.8%	8,101.1	7,407.5	91.4%	16,508.7	17,169.4	104.0%	40,201.5	39,358.5	97.9%
群馬県	78,021.2	63,160.4	81.0%	46,854.8	40,895.1	87.3%	60,729.4	57,163.4	94.1%	185,605.4	161,218.9	86.9%
埼玉県	15,474.8	12,053.5	77.9%	9,684.0	8,713.2	90.0%	12,817.3	11,987.8	93.5%	37,976.1	32,754.5	86.3%
千葉県	1,841.7	1,385.6	75.2%	1,109.7	667.0	60.1%	1,205.5	1,814.6	150.5%	4,156.9	3,867.2	93.0%
東京都	615.0	588.4	95.7%	0.0	0.0	—	528.5	425.8	80.6%	1,143.5	1,014.2	88.7%
神奈川県	1,071.6	876.5	81.8%	642.3	594.3	92.5%	1,245.9	874.5	70.2%	2,959.8	2,345.3	79.2%
山梨県	6,336.4	5,574.2	88.0%	2,371.7	2,315.6	97.6%	4,538.8	3,780.3	83.3%	13,246.9	11,670.1	88.1%
長野県	5,693.7	4,834.2	84.9%	4,679.7	3,873.5	82.8%	5,298.4	5,057.6	95.5%	15,671.8	13,765.3	87.8%
新潟県	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	132.3	130.4	98.6%	132.3	130.4	98.6%
岐阜県	2,570.9	2,072.5	80.6%	767.1	537.3	70.0%	1,995.0	1,747.5	87.6%	5,333.0	4,357.3	81.7%
静岡県	807.1	408.0	50.6%	0.0	0.0	—	102.7	0.0	0.0%	909.8	408.0	44.8%
愛知県	179.4	112.9	62.9%	0.0	0.0	—	23.0	0.0	0.0%	202.4	112.9	55.8%
兵庫県	119.0	120.0	100.8%	112.6	92.0	81.7%	98.0	90.0	91.8%	329.6	302.0	91.6%
京都府	41.5	88.5	213.3%	0.0	73.1	—	0.0	84.0	—	41.5	245.6	591.8%
徳島県	2,888.0	2,390.5	82.8%	1,344.5	1,003.8	74.7%	1,766.1	1,163.2	65.9%	5,998.6	4,557.5	76.0%
愛媛県	2,884.6	2,590.9	89.8%	2,388.7	2,503.1	104.8%	2,327.2	2,220.1	95.4%	7,600.5	7,314.1	96.2%
高知県	273.8	339.2	123.9%	0.0	0.0	—	193.4	174.6	90.3%	467.2	513.8	110.0%
熊本県	1,416.3	911.8	64.4%	386.6	191.9	49.6%	339.6	202.7	59.7%	2,142.5	1,306.4	61.0%
全国計	173,273.2	145,721.1	84.1%	109,654.0	96,131.3	87.7%	147,657.2	138,959.2	94.1%	430,117.2	380,811.6	88.5%

室町・西陣和装市況 「聞きある記」

(財) 京都産業 21 北部支援センター

◆概況

- 少子化やライフスタイル・生活環境の変化等から長らく漸次右肩下がりで推移してきた和装業界だが、3年前の過量販売・過剰与信の社会問題化で深刻な消費者不振を招き、更に今日では世界同時不況の大渦に巻き込まれるなど、ここに至って、和装市況は以前にも増して急速に悪化してきている。特に、米国発のサブプライムローン問題は、世界規模の金融危機を引き起こし、昨年秋口より実体経済にも大きく波及し、消費マインドを急速に冷え込ませた。その影響は、自動車をはじめとした高額品の購買において顕著であり、和装品もその例外ではない。
- ローン規制や消費意欲の減退等から小売では量・価格面（上代）ともに苦戦を強いられ、量販店・催事販売といった従来のビジネスモデルも崩れつつある中、川下小売の縮小が進んでいる。また、流通段階では、商品が前に流れない中で返品・見切り処分品などが逆流するなど、生産調整も焼け石に水状態で、在庫水準は依然高いままである。加えて、委託販売、浮貸し等も蔓延し店頭を目を引く商品も

少なく、消費を引き込むこともなかなか難しい状況にある。

- 「昨年9月以降目に見えて悪化し、年明け後は更に厳しくなった。また先行きは全く不透明で、打つ手が見つからない。こうした状態が今後1～2年は続くのではないかと。最後は体力勝負となるだろう。」といった見方が、今回調査を行った経営者方々のほぼ一致した意見であった。
- こうした業況にあって、業態を問わず、より前（川下販売）に出て行こうとする傾向が鮮明になってきた。以前から「白生地卸」「染加工問屋」「前売問屋」といった業態の垣根は低くなっているが、今後はより混在化していくものと思われる。これは、「過密な流通構造を見直し、ものづくりに携わないと生き残れない」という危機感から、作り手の顔が見える商品、同価格帯でも差別化した企画商品等をより前で商うことで、この苦境に活路を見出そうとする動きとなって現れている。

◆流通・販売

-
-
- 高額品は売れず、作家物は急激に減っている。
 - 以前はセットもので 50 万円前後が売れ筋の中心であったが、今は 20 ～ 30 万円後半の価格帯が最も動いており、上代は確実に下がってきている。また、これまで堅調であった百貨店・デパートの苦戦も聞かれ、地域的には関東圏に比べ関西圏・名古屋圏での販売不振が目立つ。
 - ローン規制強化の話もあり、今後なお一層ローン決済範囲内での上代設定が求められる、NC などの店頭では値頃品割合が高まると思われる。
 - 現在、流通在庫は数年分あるとも言われるが、これお如何に消化するかが、流通の当面する大きな課題である。同時に、スリム化を図る構造改善や取引ルールの見直し、意識改革等も求められるところである。

◆生産・商品

- 振袖は、ある程度数量が見込めることから、振袖に特化した会社も多く、例年に比べ早いスタートとなった。しかし作り過ぎたようで荷余り感が強い。
- 成人式で女性の大半は振袖であったが、レンタル等も多かった。消費者感覚は、所有から着装へと変わりつつあり、レンタル割合は今後増すと思われる。こうなると購入割合は減ることとなるが、「比較的安価で手軽に利用できるレンタルは、和装愛好者を掘りお越し和装需要の拡大に結び付く」との見方もある。
- 値頃価格で本当に良い商品を提供しよう

と、生地によっては、染加工も含め国内といった「こだわり」に縛られない展開も見られる。

- 「日本の繭」については、糸から原点に戻ることを指向し、糸販売も含めたビジネスモデル構築に取り組む企業があった。
- また、商品に二次元バーコードを付け携帯電話でも商品情報を呼び出せるシステム構築を図り、「生産者の顔が見えるものづくり」によって、商品の確かさや品質を説明するトレーサビリティへの取組も見られる。

◆西陣メーカー

- 平成 20 年の西陣帯地出荷数量は 86 万 7,490 本で前年比 11.3% 減、同出荷金額は 201 億 5287 万円で前年比 19.8% 減となった。比較的単価の低い一般大衆向け商品に動きが見られる趨勢は変わっていない。
- 帯は、輸入品の流入もあって着物以上に業況は悪い。なお、稼動状況がよい値頃品メーカーも一部あるが、こうした商品が市中に出回ると市場価格の下落に拍車がかかることが懸念される。
- 一方、生産面においては丹後産地と同様、織り手の高齢化や関連業種（補正、紋紙等）の転廃業が進んでおり、将来ものづくり体制の確保が不安視される。

調査機関：（財）京都産業 21 北部支援センター
（〒 627-0004 京都府京丹後市峰山町 225 番地
（丹後・知恵のものづくりパーク））
調査日：平成 21 年 2 月 10・12・13 日

中国シルク事情

商務部と農業部連名にて 2009 年度家蚕蚕種、家蚕繭及び家蚕生糸の生産指導計画を全国に通知

中国商務部弁公庁と農業部弁公庁は先ごろ（本年 3 月 2 日付け）、各省、自治区、直轄市の商務主管部門（繭シルク調整事務局部門）と農業庁（委員会、局等の養蚕振興部門）に対して「2009 年度全国家蚕蚕種、家蚕繭及び家蚕生糸の生産指導計画」を通知した。その概要は以下のとおりである。

2008 年の家蚕繭生産状況は異常低温、降雨、凍雪害の災害、四川汶川大地震及び国際金融危機の影響を受け、家蚕繭生産量は減少、同繭品質は低下、同家蚕繭の買付価格も低下し、加えて生糸生産量及びシルク商品の輸出も減少傾向となり、中国シルク産業の情勢は極めて厳しいものになってきている。統計によれば、全国の桑園面積は 1,329.83 万ムー（88.66 万 ha）で前年比 1.64% 減少、家蚕繭生産量は 68.34 万トンで前年比 15.87% 減少、家蚕生糸生産量は 9.86 万トン（164 万 3 千俵）で前年比 9.0% 減少、シルク商品輸出額は 34.93 億ドルで前年比 3.26% 減少であった。

中国の家蚕繭生産量と家蚕生糸生産量は減産になっているが、近年のシルクの輸入

量は減少傾向にあり、生糸需要に対しては基本的に在庫をもつて消化・対処してきている。一方、国内市場の需要は引き続き増加しており、国家の繊維振興及び輸出促進政策は、シルクの輸出にとって有利な情勢下にある。

現在、シルク商品は確かな潜在需要を有しており、蚕繭生産量が減産したことは、一時的に過不足現象を生じても 2009 年度の原料需給は総体的にバランスが取れることが見込まれている。

中国シルク業界のマクロ的指導を強化し、生糸需給バランスを維持し、業界を安定的に発展させ、農業、工業、貿易の利益を守るため、関係部局の意見を通じ、2009 年度の全国家蚕蚕種掃立量、家蚕繭及び家蚕生糸の生産規模は 2008 年度と同水準とすることとし、（家蚕蚕種掃立数量 1,937 万枚、家蚕繭生産数量 68 万トン、家蚕生糸生産数量 10 万トン）ここに確定して公表する。（地区別内容は、資料 1 ～ 3 のとおりである。）

この計画を参照し、現地実態を踏まえて、2009 年度の家蚕蚕種の掃き立て、家蚕繭及び家蚕生糸の生産面の指導を適切に実施されたい。

各地においては、シルク市況の変化、市場の消費需要とシルク業界の特殊性を考慮し、研究分析と情報管理を強化し、合理的に生産規模を決定するものとする。生産現地にあっては、科学的発展活動を学習・実践し、自然災害を受けた生産基地の回復、

再建工作を行い、科学的新技術の導入、農民への生産指導等適切な生産管理をもって、蚕種の品質を高め、蚕病の広域拡大を嚴重に抑止して、中国シルク業界の健全で安定した発展を確保するものとする。

資料1

2009年度全国地区別家蚕蚕種掃立指導計画表

地区	2009年家蚕繭生産指導計画(トン)	2009年家蚕蚕種掃立指導計画(枚)
河北	1,000	30,000
山西	6,100	150,000
江蘇	93,800	2,400,000
浙江	63,800	1,640,000
安徽	34,000	800,000
江西	10,500	300,000
山東	34,000	2,000,000
河南	11,800	300,000
湖北	21,500	430,000
湖南	4,300	110,000
広東	70,000	1,300,000
広西	172,000	5,380,000
重慶	22,000	770,000
四川	68,500	2,040,000
貴州	3,700	90,000
雲南	41,000	940,000
陝西	24,000	630,000
甘肅	450	20,000
寧夏	550	20,000
新疆	500	20,000
全国合計	683,500	19,370,000

(説明)各地は、指導計画の確定数量に基づき生産地の近年の単位面積当たり生産量水準、飼育地域の変動などの要素を参考に適切な調整を行うものとする。
同時に品種の繁殖係数に関連する微粒子病の淘汰状況、併せて3～5%の預留係数を蚕種掃立に割り振り計画することができる。

資料2

2009年度全国地区別家蚕繭生産指導計画表

単位:トン

地区	2008年生産実績	2009年生産指導計画
河北	1,000.00	1,000
山西	6,033.61	6,100
江蘇	95,476.00	93,800
浙江	64,318.74	63,800
安徽	33,400.00	34,000
江西	10,015.03	10,500
山東	34,530.00	34,000
河南	11,641.00	11,800
湖北	21,200.00	21,500
湖南	4,300.00	4,300
広東	70,692.70	70,000
広西	170,900.00	172,000
重慶	22,110.00	22,000
四川	68,576.20	68,500
貴州	3,626.13	3,700
雲南	40,347.95	41,000
陝西	23,800.00	24,000
甘肅	420.00	450
寧夏	520.00	550
新疆	480.00	500
全国合計	683,387.36	683,500

資料3

2009年度全国地区別家蚕生糸生産指導計画表

単位:トン

地区	2008年生産実績	2009年生産指導計画
河北	64	70
山西	65	70
江蘇	20,450	20,000
浙江	17,950	17,900
安徽	5,500	5,500
江西	2,570	2,600
山東	5,530	5,600
河南	2,800	2,800
湖北	332	400
湖南	58	60
広東	1,513	1,510
広西	14,069	14,300
重慶	5,497	5,500
四川	16,400	16,500
貴州	23	30
雲南	2,871	2,900
陝西	2,868	2,900
寧夏	30	30
新疆	30	30
全国合計	98,620	98,700

国内産地情報

絹織物産地の概況（3月）

流通・織物ともに状況は月を追って悪化している

<原糸>

中国市場の生糸価格は、中国国内における買換えや、市場振興のための増値税の還付率の引き上げ等で安定している。春繭は減産が予想されるが、在庫があるため量的に不安はない。しかし、日本国内では先行きが不透明なため目先必要な物のみ手当であった。

<白生地>

- ・丹後の縮緬生産は、前年比、67%で、無地 49%紋生地 74%となった。標準価格の下押し圧力は強いが個々の在庫は少なく縮小不均衡に歯止め感が期待される。操業日数は19日で前年より3日減少している。
- ・長浜の生産は、前年比85%で減産が続いている。操業日数18日で前年と同日、本格的な回復に程遠いが、古代にまとまった注文が入った。
- ・五泉は、生産量は大幅な減産で前年比は35%の減であった。
- ・福島は、和装を中心に減少は厳しく操業度も落ちている。
- ・福井は、小幅は輸入品の価格競争で更に悪化、広幅も含め前年比30%も減少している。
- ・岐阜は、織物生産は注文の減少でより厳しくなっている。
- ・群馬・埼玉は、売行き状況が落込んでいることから生産ペースは低下。前年比25%の減産となっている。

<先染織物>

- ・西陣の帯は、値頃商品に限定されるが、比較的健闘している小売店とつながっている機業では稼働も安定している。しかし、全般的には鈍い状況である。
- ・十日町は、振袖と留袖は昨年を上回って健闘したが、他の品は全般には減産。
- ・博多は、紋系は袋帯が順調だが八寸は今ひとつであった。平地系は夏物商品が本格的に動き出したようである。
- ・山梨は、服地は厳しいながら健闘している。ネクタイは売れる状況にない。
- ・米沢は、呉服は荷動きが鈍く、服地は輸出がほとんど出来ず減産に歯止めがかからない。
- ・西陣のネクタイは端境期にあり、全般的には6割の稼働と思われる。特にフォーマルの動きが悪い状況にある。

＊（社）日本生糸問屋協会月報 21. 4.14 第720号による。

海外シルク情報

中国

国家備蓄生糸の買換えを実施へ

世界のシルク大国、中国においては、シルク産業の国家主務官庁である商務部（国家繭絲綢弁公室）の承認を得て、国家備蓄制度による買上生糸の買換えを実施する旨のアナウンスを本年2月12日におこなっている。

これの主な内容は次のとおりである。

- ① 買換え対象生糸：これまで国家備蓄制度により買い上げた生糸のうち、1年以上在庫した生糸とする。
- ② 買換えの申込を認める企業：国内シルク関係企業であって国内生糸の生産、加工及び貿易に一定の実績をもつ企業とする。
- ③ 申し込み企業ごとの買換え最小ロット：50 荷口（500 俵）
- ④ 買換え条件：対象企業は、備蓄生糸を倉出しする数量と同数量の国家検定書付き生糸を倉入れするものとし、倉出しと倉入れまでの期間は一定の保証金を提供しなければならないとし、これに関係する検査費用、輸送・運搬費用は当該企業が負担する。
- ⑤ 具体的な買換え実施機関：国家繭絲綢弁公室より委託を受けた「中経実業開発公司」（半官半民のかつての農畜産事業団のような機関）
- ⑥ 根拠規定：国家備蓄生糸買上規定及び国家備蓄生糸保管年度計画

この生糸買換え工作の実施は、放出生糸と同数量の生糸を再在庫することから国内繭糸需給に悪影響を与えないことを今回のアナウンスは強調している。

中国では、昨秋の十月以降、国際金融不安の影響からシルクの輸出に減少傾向が見られ、国内生糸価格は大幅に下落しており、9月以前の180元/kg台から160元/kg台への低迷が本年になっても続いている。日本への生糸輸出価格も折からの円高の影響からキロ当たり2,000円台（2,800～2,900円/kg）が出現するところとなっている。このような動きから、良質な浙江、江蘇産備蓄生糸を市場に放出・確保し代わりに中西部産生糸を国家備蓄として市場より隔離して、生糸の国内価格の回復かつ輸出適格品を確保する方策が今回の備蓄生糸の買換え工作の狙いであろう。大国・中国の国内価格は、世界各国への輸出価格と直結びついており、今後の中国初の試み「備蓄生糸の買換え工作」の動向から目を離せない状況が続きそうである。

2008 年家蚕繭生産状況

1. 主要統計

- 蚕種掃き立て数量：1,750.8 万枚（対前年比 17.2% 減）
- 家蚕繭生産量：65.86 万トン（対前年比 16.3% 減）
- 家蚕繭収繭量（製糸工場等の買上数量）：54.06 万トン（対前年比 17.5% 減）
- 桑園面積：1,268.9 万ムー（＝ 845, 933ha）（ほぼ前年同）

このように 2008 年度の家蚕繭生産量は、2 年連続しての農家の繭買い上げ価格が大幅に下落したことから養蚕農家の生産意欲は減退し、対前年比約 2 割弱の減産となった。これは 12 年前の 1996 年以来の大幅な減産を記録するところとなった。

2. 産地別状況

産地別で増産になったのは山西省 6,688 トンで 4% 増だけであり、雲南省は 34,500 トンで前年と同。その他の産地は軒並み減産となっている。中でも前年比 15% を超える減産となった産地は、湖南省 2,540 トンで 40% 減、広東省 6,205 トンで 24% 減、四川省 69,000 トンで 23% 減、江西省 8,600 トンで 22% 減、重慶市 22,140 トンで 21% 減、浙江省 73,882 トンで 18% 減、安徽省 31,800 トンで 18% 減、広西自治区 170,907 トンで 17% 減であり、ちなみに優良産地の江蘇省は 95,000 トンで前年比 9% 減となっている。

3. 四つの減産要因

○繭糸価格の下落

ここ数年乾繭価格をみると 2006 年は 64 ～ 75 元／kg、2007 年は 54 ～ 62 元／kg、2008 年は 45 ～ 56 元／kg となっており、2008 年の乾繭価格は 2006 年に比較して 25 ～ 30% も減少している。加えて、2008 年後半の生糸価格は、それまでの 200 元／kg（3,200 円／kg）から 130 元／kg（1,950 円／kg）と大幅に下落しており、これでは原料繭購入原価を割り込む赤字となっており、これらのことから最終的に蚕種掃き立てを大幅に控える要因となっている。

○シルク関係経費の原価の大幅な上昇

最近では、シルク製品の最終販売価格は年々下降傾向に推移しており、一方、養蚕農家及び関係企業の生産資材価格は大幅な上昇傾向にあり、例えば、化学肥料、農薬、ガソリン、石炭、人件費は年々高騰している。別の面で食糧や綿栽培に対しては国家から保護（補助）があるが、養蚕に関してはこれが少なく、農家の生産意欲は減退傾向にあり、部分的にはあるが、桑園が抜根改植されている地域も出現してきている。

○自然災害

年当初における南方の大雪害、5 月の汶川大地震、6 月に襲った地域的な長期の大雨被害等は、昨年 of 養蚕飼育に大損害を与えた。

○都市化進展の影響

中国各地の都市は、近年、高度成長のため絶えず拡張しており、かつ、高速道路と鉄道は年々増設敷設され、これらが既存の耕地、桑園を消滅させていることは事実である。

＊（社）日本生糸問屋協会月報 21.3.13 第 719 号及び 21.4.14 第 720 号による。

シルクの豆辞典 (21)

故 事・農 諺 (1)

— 苞桑の戒め —

信州大学

名誉教授 嶋崎 昭典

私たちの祖先は、自然の厳しい変化に耐えながら田畑を耕し生計をたて、幾千年もの歳月を過ごしてきました。先人はそうした長年にわたる経験から得た生きる知恵を技術として農書に纏め残しました。一方でそれを超える沢山の故事・農諺が父から子へと伝えられてきました。ここでは、蚕糸に関わるそうした諺や成句のいくつかを紹介したいと思います。

1. 苞桑の戒め

^{ほうそう}苞桑は、桑根の皮が丈夫で強靱のことから転じた、「根本の固い事」の意で、「苞桑の戒め」は『易経』にある「尊い位にある者は滅亡にいたる日のある事を考え、常に己の行動を恐れ慎まなければならない」を指す諺と言われています。

先々を考へ行いを慎み災難を未然に防ぐ、根本の固い事を示す「苞桑の戒め」の元は、『詩経』の「^{しきょう}鷓鴣（ヨタカ）」の故事によるようです。周の武王は^{いん ちゅう}殷の紂王を滅ぼして周王朝をたてました。弟の周公姫旦はその兄を助け、兄の死後は幼い甥、成王

の後見人として内政を整え天下の安定に努めるのでした。孔子が理想の聖人に挙げる周公ですが、周公に不満を持つ弟の管叔、蔡叔、霍叔達は紂王の子^{ぶこう}武庚に唆されて反乱をおこすのでした。乱が治まった後も、成王は「周公は王位の篡奪を企てている」という管叔達の唱えた流言に惑わされ周公を疑うのでした。周公は、

鷓鴣よ鷓鴣（武庚）。すでにわが子（兄弟）をとる。わが室（王朝、巢）を毀（こわ）すなかれ。天のいまだ陰（くもり）雨降らざるにおよびて、彼の桑土（桑の根）をはぎ、^{いう}牖（窓）と戸を^{ちゅうびゅう}綢繆（固く結わえつけ）する。

^{なんじ}いま女下民、敢えて^よ予を侮ることあらんや。（『詩経』^{ひんふう}豳風の詩、鷓鴣の一部）

と、武庚をヨタカ、成王をひな鳥、王朝を巢に喩え、「風雨の到来を前に親鳥（周公）が強靱な桑根の皮を剥ぎ巢の入り口や隙間をがんじがらめに繕い災難を未然に防ぐ」の詩を作り、成王を諭したという^{そうどちゅうびゅう}「桑土綢繆」の故事を踏まえたものといわれます。

「苞桑の戒め」は、例えば『三国志』の

第十三話、

我、^{れきし}遺史を觀て悲しみに耐えず。
金古茫々^{しより}黍離を歎ず。人君はまさに
苞桑の戒めを守るべし。

に見られます。文中の黍離は、『詩経』王風の「周の王室が西方の異民族の圧迫を避け、都を東へ遷した。暫くして一人の重臣が旅の途中、前の王都鎬京（西安）を訪れたところ、都の跡はすでに一面の黍畑になっていたのを見て悲しんだ」「黍離」の詩を指すといひます。「苞桑の戒め」はこのように、盛者必衰のことわりを心に留め、身を慎む大切さを伝える格言と言ひます。

2. 陌上桑

「陌上桑」は、^{はくじょうそう}陌の上りで桑を摘む美しい羅敷夫人に言ひ寄った王様が手厳しくはねつけられる滑稽な寸劇風景の漢代樂府の曲名で、その故事を受けて、貞操の固い夫人の意につかわれます。次にその概要を示します。

中国は戦国時代のこと、^{かんたん}邯鄲の秦氏に羅敷（らふ）と言う美しい娘が居り王家の家令、王仁に嫁ぎました。羅敷はカイコを飼うのが上手で、道のほとりで桑摘みをしていますと、道行く人は荷を下ろし髭を剃りて見とれるし、若者は頭巾をかぶって格好をつけ、畑中の人は手を休め仕事を忘れます。家に帰ってガミガミ家人に当たり散らすのは、みんな羅敷を見たのが原因です。ある日太守の趙王が五頭立ての馬車でやってきました。馬は美人を見て立ち止ま

り進みません。太守は家来に命じて身元を正します。「秦氏の娘で名は羅敷。年は15を少し過ぎているようです」。家来は再び王の命を受け「お殿様の命令だ。共に王宮へ行くように」。これを聞いた羅敷は夫王仁の凛々しい男らしさをお惚気一杯歌ひ上げきっぱり拒絶し婦道を全うします。

漢代の歌謡曲として作られた、作者無名の「陌上桑」の樂府は、例えば唐代の駱賓王（?－684）の七言古詩「帝京篇」で「娼婦の銀鈎（銀のかぎ）採桑の路。羅敷の使君（地方の長官、羅敷の夫）千騎帰る」などに引用され、また、俳諧・芭蕉翁反古文（花屋日記）一上「園女がいまだ若くして、陌上桑の調あるをほめたまいたる吟なり」などのように、貞操の固い夫人を指すときの言葉につかわれています（図）。



図 陌上桑の羅敷（上垣守国「養蚕秘録」）

3. 桑 榆

夕方になると、中国語で桑、榆と呼ばれる二星が西の空に現れます。夕日の光が地上の桑樹や榆の梢を照らす様子とも合わせ転じて、「桑榆^{そうゆ}」は、夕暮れ時、晩年、老年などを指す成句として使われています。

例えば魏^{そうしよく}の曹植「贈白馬王彪（はくばおうひょうにおくる）」の詩にも桑榆の句がみえます。後漢の献帝初平3年（192）魏の曹操の子として生まれた曹植は、才能に恵まれ父の愛を一身に受け幸せな少年時代を過ごすのでした。しかし、兄曹^ひ丕との相続争いに巻き込まれ、26歳ごろからは暗い運命を辿るのでした。黄初4年（223）仲の良かった実の兄曹彰が毒殺され、同年の7月異母弟の白馬王彪との帰国も、当路の下役人によって拒否されます。「贈白馬王彪」の詩（一部）

秋風微涼を發し 寒蟬^{かたわら}我が側に鳴く。

人生^{いっせい}まれて一生^おに処るも、去ること朝露^{かわく}の曜^{ごと}が若し。年桑榆の間に在り、影響追うこと能わず。自ら顧みるに金石に非ず。咄^{とつ}嗒^{しゃ}して心を悲しましむ

は、そうした弟の白馬王と別行動を取る

事を余儀なくされ、曹操の子としての誇りも傷つけられたときの詩です。曹植には、秋風は冷たく、側に鳴くひぐらしは一層もの淋しさを誘うのでした。人として生まれた一生も、朝日と共に消える朝露のように儚^{はかな}く、わが年も既に桑榆の間にあると嘆いています。

一方、良寛（1758－1831）は、

行き行きて田舎^{でんしゃ}に投ず 正に是れ桑榆の時
鳥雀^{ちようじゃく}は竹林^{あつま}に驟^{しゅうしゅう}り 啾啾相率いて飛ぶ。

と詩っています。「夕暮れ（桑榆）時になったので、田舎家に一泊の宿を乞う。スズメたちは竹やぶに集まりピーチク鳴きながら飛び交っている」と桑榆をここでは夕暮れの意に用いています。

なお、西空に現れる星の桑、榆（飯塚朗中国故事。角川選書。1974）の二星を捜しましたが確認できませんでした。曹植と同じ時代の陳卓（230－320）が1464星を示す星表を作った記録がありますが後世に伝わっていません（白倫蘇州大学教授）とのことです。桑、榆の二星はそこに示されていた星座名かもしれません。

イベント情報

イベント名	企画内容および展示内容	開催期間	場所および主催者
第46回特別展 「輝くシルク・群馬の製糸」―世界遺産をめざす富岡製糸場を中心に―	群馬県の製糸の歩みや繭から生糸を作り出す製糸技術の移り変わりなどを紹介します。また、富岡製糸場やフランス式繰糸器の模型などを展示するとともに富岡製糸場が果たした役割などを紹介し、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録運動を支援する特別展です。 観覧料：一般200円（160円）、大高生100円（80円）、（ ）内は20以上の団体料金 中学生以下及び身体障害者手帳等お持ちの方とその付添1名様無料	平成21年4月18日（土）～ 5月18日（月） 開館時間：9:30～17:00 休館日：毎週火曜日 （祝祭日は翌日、5月6日は開館）	会場・主催・お問い合わせ 群馬県県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1 Tel:027-360-6300 Fax:027-360-6301 http://www.nipon-kinuno.sato.or.jp
人間国宝古賀フミ展 ―佐賀錦の雅な世界―	江戸時代、佐賀鍋島藩で制作され始めた佐賀錦は、和紙を経とし多彩に組まれた絹を緯糸として文様を織る染織技法です。 この佐賀錦の重要無形文化財保持者・古賀フミ氏は有名です。本展では同氏の気品あふれる現代的な色彩感覚と意匠による作品約70点を展示し、佐賀錦の芸術的価値を高めた雅な世界を堪能し、手仕事による絹の美しさを再認識いただくのが目的です。 入館料：一般700円（600円）、大高生200円（150円）、65才以上300円（200円）小・中学生100円（50円）、（ ）内は、団体割引（20人以上）の料金	平成21年4月25日（土）～ 5月24日（日） 午前9時～午後4時30分 休館：毎週月曜日	会場・主催・お問い合わせ シルク博物館 〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町1番地（シルクセンター2F） （みなとみらい線 日本大通り駅下車3番出口） Tel:045-641-0841 http://www.silkmuseum.or.jp/ 後援：文化庁、神奈川県、横浜市経済観光局、神奈川新聞社、横浜繊維振興会等
まゆクラフト作品展	全国から広く、まゆの自然な造形美、まゆの質感を活かした優れたまゆクラフト作品を募集、展示をします。まゆクラフトの製作技術の向上を図ると共に、全国同好のまゆクラフト製作者の「集いの場」となることを目的とします。 入館料：大人300円（200円）、子供100円（50円）（ ）内は、団体割引（20人以上）の料金	作品展開催期間 平成21年4月25日（土）～6月14日（日）まで AM9:00～PM4:30 （水曜日休館）	会場・主催・お問い合わせ 駒ヶ根シルクミュージアム 〒399-4321 長野県駒ヶ根市東伊那482 Tel:0265-82-8381 Fax:0265-82-8380 後援：中央蚕糸協会、（財）大日本蚕糸会、（社）日本絹業協会、（社）日本生糸問屋協会、全国農業協同組合連合会
絹の郷シンポジウム&現地見学会 ～純国産絹製品づくりによる新しい価値の創造～	蚕糸・絹業提携グループによる純国産絹製品づくりを推進するとともに養蚕現場や群馬の絹に理解を深めることを目的に「絹の郷シンポジウム&現地見学会」を開催します。 【1日目】 ＜シンポジウム＞14:00～17:00 テーマ：差別化できる純国産絹製品の製造・販売 ＜交流会＞17:30～ 【2日目】8:00～15:00 養蚕・製糸現場等の見学 ＊現地見学会後、群馬の絹を原料に純国産絹製品づくりを目指す方を対象に「蚕糸・絹業提携グループ形成情報交換会」を開催 15:30～17:30 ◆参加費10,000円（交流会と見学会費・昼食代等含む） ◆定員90名	平成21年5月29日（金）～ 30日（土）	会場 群馬県庁ビジターセンター （群馬県前橋市大手町1-1-1） 主催 群馬県、（財）大日本蚕糸会、碓氷製糸農業協同組合 お問い合わせ 群馬県農政部蚕糸園芸課 Tel:027-226-3092 Fax:027-243-7202
純国産絹製品企画展	国産の繭・生糸の特徴、希少性を活かした純国産絹製品を展示し、広くPRすることによって日本の蚕糸・絹業の活性化を図るとともに純国産絹マークの消費者への普及を推進します。 （入場無料）	平成21年5月31日（日）～ 6月3日（水） 5月31日は13:00～17:00 6月1日～2日は9:00～17:00 6月3日は9:00～16:00	会場：京都産業会館4F （京都市下京区四条通烏丸西入る） 主催：（社）日本絹業協会 Tel:03-3214-1691 後援：（財）大日本蚕糸会 （社）日本絹繊維物工業会 京都織物卸商業組合 （社）全日本きもの振興会

登録コーディネーター一覧

蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業コーディネーター登録者一覧

平成 21 年 4 月 27 日現在

登録番号	氏 名	所属・役職名
19-001	島 田 俊 弘	中央蚕糸協会顧問
19-002	西 文 秀	(社)日本絹業協会専務理事
19-003	中 尾 敏 明	(社)日本生糸問屋協会専務理事
19-004	道 鎮 孝 雄	(社)日本絹業協会事業部長
19-005	筧 文 平	全国農業協同組合連合会副審査役
19-006	清 水 重 人	(財)大日本蚕糸会蚕糸科学研究所上席研究員
19-007	田 中 幸 夫	(財)大日本蚕糸会蚕業技術研究所上席研究員
19-008	代 田 丈 志	(財)大日本蚕糸会蚕業技術研究所上席研究員
19-010	遠 田 寿 之	松岡株式会社監査役
19-011	渋谷 健 治	松岡株式会社シルク事業部課長
19-012	佐 藤 信 行	松岡株式会社常務取締役
19-013	小 板 橋 広 行	碓氷製糸農業協同組合参事
19-014	今 村 幸 文	碓氷製糸農業協同組合製造部長
19-015	萩 原 和 憲	碓氷製糸農業協同組合総務主任
19-016	宮 坂 照 彦	株式会社宮坂製糸所代表取締役
19-017	高 橋 耕 一	株式会社宮坂製糸所専務取締役
19-018	服 部 芳 和	有限会社織道楽塩野屋代表
19-019	木 下 幸 太 郎	株式会社マルシバ代表取締役社長
19-021	門 倉 重 行	門倉メリヤス株式会社代表取締役
19-022	川 瀬 久 弥	樋口株式会社工場長
19-023	福 永 吉 穂	江一株式会社原糸事業部長
20-001	笹 口 晴 美	有限会社ミラノリブ代表取締役
20-002	薦 田 智 昌	ロード・ニジュウイチ株式会社代表取締役
20-003	西 澤 厚 男	中央蚕糸協会専務理事
20-004	佐 藤 幸 香	「香染」工房主宰
20-005	土 井 芳 文	絹小沢株式会社業務推進役
20-006	石 田 克 己	二十一世紀の絹を考える会世話人代表
20-007	深 田 祥 二	株式会社深田商店専務取締役
20-008	兵 頭 眞 通	愛媛蚕種株式会社代表取締役
20-009	草 間 健 一	株式会社草間商会代表取締役
20-010	前 田 進	有限会社スリーエスプランニング代表取締役
20-011	星 野 伸 男	新增澤工業株式会社代表取締役
20-012	昆 野 和 夫	前いわい東農業協同組合養蚕農家指導担当
20-013	阿 部 末 男	岩手県養蚕活性化推進協議会代表
20-014	俵 武 司	株式会社千總副部長
20-015	原 田 尹 文	有限会社ハラダ代表取締役
20-016	西 尾 仁 志	有限会社西尾呉服店代表取締役
20-017	山 根 敏 男	松村株式会社繊維原料部部門長
20-018	都 木 裕 一 郎	ニッケン通商株式会社生糸販売担当責任者
20-019	伊 藤 公 一	株式会社伊と幸代表取締役社長

(注) 標記名簿は公表を了承された方のみ掲載しております。

登録番号	氏 名	所属・役職名
20-020	北 川 幸	株式会社伊と幸取締役社長室長
20-021	本 橋 伸 夫	株式会社伊と幸取締役営業本部長
20-022	宮 忠 光	株式会社伊と幸取締役副部長
20-024	野 中 康 雄	株式会社伊と幸和装部次長
20-025	亀 井 修 一	株式会社伊と幸営業部
20-026	宮 沢 已 起 代	有限会社塩野屋東京事務所スタッフ
20-027	東 宣 江	群馬県蚕糸館主宰
20-028	松 澤 清 典	松澤製糸所
20-029	渡 邊 英 夫	ネオシルク株式会社足利支店営業部長
20-030	金 井 史 郎	東北燃糸株式会社代表取締役社長
20-031	中 谷 比 佐 子	株式会社秋櫻舎代表取締役社長
20-032	北 丸 豊	豊栄繊維株式会社代表取締役社長
20-033	松 本 信 孝	有限会社ハック代表取締役
20-035	片 山 政 明	山形県養蚕産地推進員
20-037	角 谷 美 和 子	ハクビ京都きもの学院学院長
20-038	原 田 晶 三	アンファンテリブル代表
20-039	福 田 隆	株式会社龍工房代表取締役
20-040	清 水 武 彦	有限会社シンセイ（信州繭ブランド織物振興会会長）
20-041	梅 田 幸 平	有限会社幸和代表取締役
20-042	大 嶋 啓 子	株式会社 AWA - S 取締役
20-044	小 此 木 エ ツ 子	多摩シルクライフ 21 研究会代表
20-045	境 京 子	多摩シルクライフ 21 研究会
20-046	藤 井 浩 一	藤井絞株式会社取締役部長
20-047	松 井 慎 一 郎	加賀グンゼ株式会社代表取締役
20-048	大 野 章	勝山織物株式会社
20-049	勝 山 健 史	勝山織物株式会社専務取締役
20-050	福 地 圭 一	丸八生糸株式会社
20-051	舞 鶴 一 雄	株式会社西陣まいづる代表取締役社長
20-052	旭 利 彦	ロード・ニジュウイチ株式会社
20-053	内 藤 吉 雄	艶金染工株式会社 F P 事業部（織物自販部）
20-054	前 田 勝 臣	株式会社日本クリエイティブセンター代表取締役
20-055	堀 内 新 也	農業、地域（繭）マイスター
20-056	林 太 一	昭和燃糸工業株式会社
20-057	中 野 豊	長崎絹業探究所製作担当
20-058	永 岩 則 子	長崎絹業探究所所長
20-059	宇 野 浩 嗣	京丹後市商工観光部丹後の魅力総合振興課主任
20-060	中 尾 浩 祥	株式会社丸万中尾取締役
20-061	小 口 和 興	株式会社帛撰代表取締役
20-062	吉 川 幸 四 郎	有限会社吉川商事代表取締役
20-063	大 竹 史 朗	有限会社大竹商店代表取締役

登録番号	氏 名	所属・役職名
20-064	加 藤 洋 次	株式会社加藤技術士事務所所長
20-065	田 中 裕 司	株式会社布四季庵ヨネオリ代表取締役
20-066	黒 田 秀 樹	株式会社伊と幸和装部次長
20-067	秋 山 眞 和	綾の手紬染織工房主宰
20-068	山 口 治 之	丹波生糸株式会社代表取締役
20-069	藤 井 美 登 利	川越むかし工房代表
20-070	藪 内 猛 之	株式会社ヤブウチ代表取締役
20-071	竹 下 和 利	有限会社寿光織本舗取締役社長
20-072	中 島 洋 一	玉川大学講師
20-073	渡 辺 健 次	渡文株式会社代表取締役専務
20-074	佐 々 木 祥 一	株式会社川島織物セルコン
20-075	高 橋 弘 直	大門屋店主
20-076	田 中 隆	田中種株式会社代表取締役
20-077	堂 本 正	田中種株式会社営業部長
20-078	藪 垣 茂 仁	田中種株式会社仕入担当
21-001	岡 田 心 平	株式会社あきやま常務取締役
21-002	小 林 嘉 朗	有限会社コバヤシ代表取締役
21-003	天 野 三 吉	富士吉田織物協同組合開発部長
21-004	柏 木 幹 弘	有限会社カシワギ社長
21-005	小 山 田 勉	株式会社オヤマダ取締役社長
21-006	中 澤 豊	株式会社山桜代表取締役社長
21-007	小 倉 進 吾	株式会社小倉商店
21-008	道 明 美 保 子	文化女子大学名誉教授



活発な質疑があったコーディネーター会議

蚕糸関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
蚕糸・織物関連の展示を目的としている施設			
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-23-1325
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地 (敷島公園バラ園内)	027-231-9875
織物参考館 “紫” (ゆかり)	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
きもの芸術館 ((財) 日本きもの文化協会)	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ~ 8F	03-3400-0286
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2-24-16	042-388-7163
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3-22-7	03-3299-2387
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989-2	0426-76-4064
シルク博物館	231-0023	神奈川県横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内	0268-41-1800
岡谷蚕糸博物館	394-0028	長野県岡谷市本町 4 丁目 1 番 39 号	0266-22-5854
浦野染織資料博物館	393-0066	長野県諏訪郡下諏訪町曙町 5350	0266-27-8503
常田館 (絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1-10-3 笠原工業 (株) 内	0268-22-1230
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
キナーレきもの歴史館	948-0003	新潟県十日町市本町 6 十日町ステージ越後妻有交流館内	0257-52-0117
まゆの資料館	410-3612	静岡県賀茂郡松崎町宮内 263-2	0558-42-3912
川島織物セルコン、織物文化館	601-1123	京都府京都市左京区静海市原町 265	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都府京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
織成館	602-8482	京都府京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
グンゼ博物館	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ (株) 周辺敷地内	0773-43-1050
上垣守国養蚕記念館	667-0311	兵庫県養父市大屋町大家市場 117	0796-69-1580
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町甲 1577 番地	0889-26-1002
展示の一部に蚕糸・織物関連がある施設			
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204-1	059-293-0010
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
大間々町歴史民族館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619-1	055-269-3399
日本司法博物館 (松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196-1	0263-47-4515
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564-1	0268-42-2158
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1	0574-28-1110
その他関連施設			
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
夕鶴の里資料館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025-2	0238-47-5800
松ヶ丘開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29	0235-62-3985
結城紬関連施設 (結城市伝統工芸館)	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018-1	0296-32-7949
たくみの里木織の家「椽」(つるばみ)	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-1308
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3-26-2	0424-81-7656
相模田名民家資料館	229-1124	神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618-4	0263-83-3835
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)	0268-22-1274
塩沢つむぎ記念館 (織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227-1	0257-82-4888
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25	0258-83-4800
白山工房 (織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村又 17	076-259-2859
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織元田勇 (田勇機業株式会社)	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112	0772-72-0307
まゆ村	616-8384	京都府京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
シルク染め織り館	699-5216	島根県鹿足郡津和野町池村 1997-4	0856-74-0784

蚕糸関係団体ホームページ一覧

平成 21 年 4 月 20 日現在

【行 政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp/>

【蚕糸絹業関係団体】

(財) 大日本蚕糸会
(社) 日本絹業協会 (シルクセンター)
(社) 日本生糸問屋協会
(財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
T A F S (東京織物卸商業組合)
K O M S (京都織物卸商業組合)
京都和装産業振興財団
(財) 伝統的工芸品産業振興協会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://homepage1.nifty.com/nittonkyo/>
<http://www.mawata.or.jp/>
<http://www.tanko.or.jp/>
<http://www.nishijin.or.jp/>
<http://www.tafs.or.jp/>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp/>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougei.or.jp/>

【取引所】

東京穀物商品取引所
関西商品取引所

<http://www.tge.or.jp/japanese/index.shtml>
<http://www.kanex.or.jp/>

【大学・試験研究機関】

(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室
<http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>

(国) 東京農工大学農学部生物生産学科
(国) 東京農工大学工学部生命工学科
(国) 京都工芸繊維大学工芸学部応用生物学課程
(国) 京都工芸繊維大学
(国) 信州大学繊維学部
(国) 名古屋大学農学部
(国) 北海道大学応用分子生物学講座
(国) 九州大学大学院遺伝育種学講座蚕学研究室
(国) 九州大学大学院遺伝子資源工学専攻
(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース
(国) 山口大学農学部生物資源環境科学科

<http://www.tuat.ac.jp/~aaseisan/>
<http://www.tuat.ac.jp/~seimei/>
<http://www.bio.kit.ac.jp/>
<http://www.kit.ac.jp/>
<http://www.tex.shinshu-u.ac.jp/>
<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>
http://www.hokudai.ac.jp/agricu/organization/bunya/l_in_bunshi_seibuts.html
<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/agpm/sangaku/>
http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/grt/igr/new_lab/index.html
<http://www.news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/departement/bio/biofunc/index.html>
<http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>

(独) 農業生物資源研究所

<http://www.nias.affrc.go.jp>

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所

http://www.silk.or.jp/silk_kagaku/index.html

(財) 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所

http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/index.html

群馬県蚕糸技術センター (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>蚕糸技術センター)

http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=50545

群馬県繊維工業試験場 (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>繊維工業試験場)

http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=59241

京都府織物・機械金属振興センター

<http://www.silk.pref.kyoto.jp/index-sub.html>

京都市産業技術研究所繊維技術センター

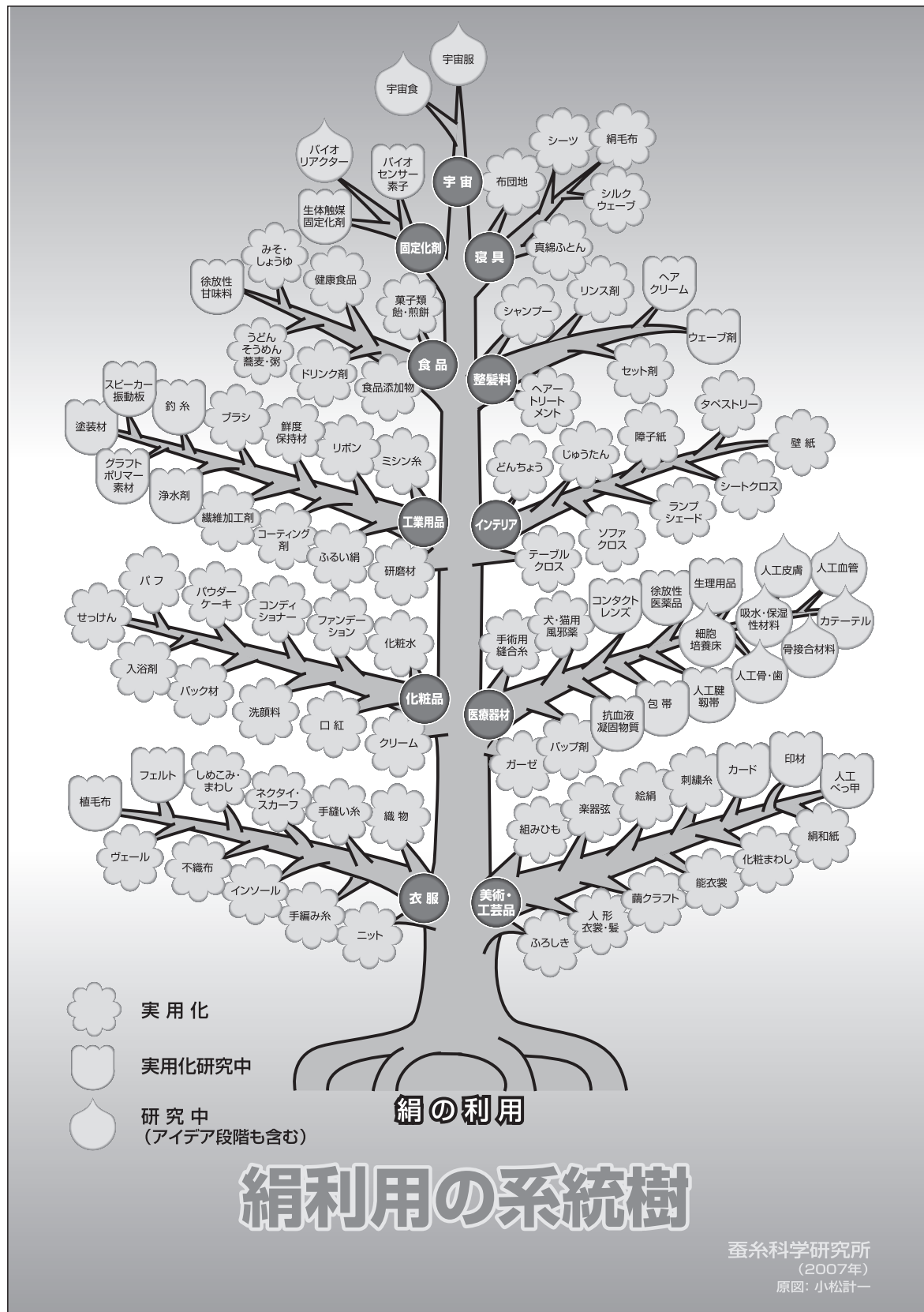
<http://www.ktri.city.kyoto.jp/mainpage/sikenjo.html>

【博物館】

(財) シルクセンター国際貿易観光会館 シルク博物館
群馬県立日本絹の里
東京農工大学科学博物館

<http://www.silkmuseum.or.jp/>
<http://www.nippon-kinunosato.or.jp/>
<http://www.tuat.ac.jp/~museum/index.html>

絹にはこんなにいろいろな使い道があります。



統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	36
(2) 養蚕業の概要	37
(3) 養蚕農家数の推移	38
(4) 収繭量の推移	39
(5) 都府県別養蚕農家数、桑使用面積、収繭量（2008年）	40
(6) 蚕品種別蚕種製造数量（2008年）	41
(7) 生糸需給及び絹糸、絹織物の輸出入状況	42
(8) 生糸生産数量の推移	43
(9) 生糸の織度別生産数量の推移	44
(10) 生糸相場相場及び国内生糸価格実態	45
(11) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	46
(12) 製糸工場の原料繭需給	47
(13) 器械製糸工場の操業状況	48
(14) 生糸在庫数量の内訳	49
(15) 蚕糸関係品目別輸入状況	50
(16) 生糸原産国別輸入状況	51
(17) 絹糸原産国別輸入状況	52
(18) 織物の生産状況	53
(19) 絹人織織物製造業者の絹織物生産状況	54
(20) 丹後、長浜、西陣の絹織物生産状況	55
(21) 全国全世帯被服類品目消費支出状況	56

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	57
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	58
(3) 中国省別桑園面積、家蚕繭生産数量、生糸生産数量、製糸工場数	59
(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移	60
(5) 中国のシルク類（生糸、絹糸、絹織物）の輸出状況	61
(6) ブラジルの繭、生糸の生産数量の推移	62
(7) ブラジルの生糸、絹糸及び副蚕糸の内需、輸出別販売状況	63

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item 年次 (暦年) Calendar year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk-Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
昭和50年 1975	248,400	91,219	367	333.9	123	87	311.3	156,494
55年 1980	165,590	73,061	441	267.6	105	81	279.2	143,708
60年 1985	99,710	47,274	474	158.6	67	87	212.5	107,499
平成3年 1991	44,010	20,821	473	91.4	50	75	161.7	76,089
4年 1992	34,880	15,553	446	84.1	49	75	148.8	72,901
5年 1993	27,180	11,212	412	70.3	45	72	138.1	66,801
6年 1994	19,040	7,724	406	64.5	39	69	102.7	61,653
7年 1995	13,640	5,350	392	53.4	29	63	94.2	54,131
8年 1996	7,890	3,021	383	42.7	26	58	84.7	53,815
9年 1997	6,310	2,516	399	31.5	18	67	81.6	52,031
10年 1998	5,070	1,980	390	18.4	13	76	74.5	38,673
11年 1999	4,030	1,496	371	10.8	8	73	67.4	33,425
12年 2000	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
13年 2001	2,730	1,031	378	7.2	8	63	56.8	29,801
14年 2002	2,360	880	373	6.5	7	68	51.2	26,826
15年 2003	2,070	780	377	4.8	6	64	48.7	23,935
16年 2004	1,850	683	369	4.4	5	62	45.6	21,895
17年 2005	1,591	626	393	2.5	2	62	43.7	19,816
18年 2006	1,345	505	375	2.0	2	83	41.6	18,507
19年 2007	1,169	433	370	1.8	2	83	40.0	15,466
20年 2008	1,021	382	374	1.6	2	80	38.1	13,913
前年対比 (%)	87.3	88.2	101.1	88.9	100.0	96.4	95.3	90.0

資料・養蚕業及び製糸業は農林水産省生産局調査によるものである。

ただし、平成13年以前の養蚕業は農林水産省統計部調査である。

・絹業は経済産業省調査によるものである。平成18年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況である。

Source: The Regional Products and Industrial Crops Division, Agricultural Production Bureau,
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling)
The Statistic Department, MAFF (Sericultural industry, before 2001)
The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric)

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills.

(2) 養蚕業の概要

Outline of Sericultural Industry

項 目 Item	養蚕農家数	桑栽培面積	桑使用面積	蚕種 掃立卵量	1箱当り 収繭量	収繭量	1戸当り 栽培面積	1戸当り 掃立卵量	1戸当り 収繭量
年 次 Year	Farm house- holds raising silk-worm	Growing area of mulberry	Harvested area of mulberry	Silk-worm eggs used	Cocoon production per box of silk-worm eggs used	Cocoon production	Growing area of mulberry per farm household raising silk-worm	Box of silkworm eggs used per farm household raising silk-worm	Cocoon production per farm household raising silk-worm
	戸 number	100ha	100ha	1000箱 1,000cases	kg	t	a	箱 box	kg
1993	27,200	425	239	319	35	11,212	156	12	412
1994	19,000	339	173	228	34	7,724	178	12	406
1995	13,600	263	117	155	35	5,350	193	11	392
1996	7,890	193	66	87	35	3,021	244	11	382
1997	6,310	138	54	74	34	2,516	219	12	399
1998	5,070	103	44	60	33	1,980	203	12	390
1999	4,030	74	33	45	33	1,496	184	11	371
2000	3,280	59	27	37	33	1,244	179	11	379
2001	2,730	48	23	31	34	1,031	174	11	378
2002	2,360	43	22	26	34	880	182	11	373
2003	2,070	38	19	23	33	780	185	11	374
2004	1,850	34	18	21	38	683	186	11	369
2005	1,591	30	16	18	34	626	188	12	396
2006	1,345	27	14	15	34	505	198	11	375
2007	1,169	24	12	13	35	433	202	11	371
2008	1,021	20	10	11	36	382	197	10	374
対前年比 2008/07(%)	87.3	83.3	83.3	84.6	102.9	88.2	97.5	90.9	100.8

資 料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、農林水産省生産局調査（2002年～）。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001) .
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2002～) .

(3) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)

(Unit: number)

年次 Year	項目 Item	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
1993		27,180	24,160	17,450	20,740
1994		19,040	16,790	13,190	14,790
1995		13,640	12,450	9,560	9,580
1996		7,890	6,980	5,000	6,290
1997		6,310	5,650	4,420	5,120
1998		5,070	4,550	3,750	4,120
1999		4,030	3,600	2,710	3,280
2000		3,280	2,970	2,170	2,700
2001		2,730	2,410	1,870	2,270
2002		2,360	1,992	1,720	1,918
2003		2,070	1,875	1,503	1,751
2004		1,850	1,621	1,371	1,551
2005		1,591	1,420	1,061	1,345
2006		1,345	1,215	852	1,102
2007		1,169	1,052	726	988
2008		1,021	929	613	857
対前年比 2008/07 (%)		87.3	88.3	84.4	86.7

資料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年、参考数値）、
農林水産省生産局調査（2005年～）。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).
National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～).

(4) 収繭量の推移

Cocoon Production

年次 Year	項 目 Item	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm				桑使用面積 10a当たり 収繭量（年間） Cocoon production per farm harvested area of mulberry
		年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	
		t	t	t	t	kg	kg	kg	kg	kg/10a
1993		11,212	4,624	3,060	3,529	412	191	175	170	47
1994		7,724	3,036	2,044	2,644	406	181	155	170	46
1995		5,350	2,222	1,477	1,651	392	178	155	172	46
1996		3,021	1,184	747	1,090	382	170	149	173	46
1997		2,516	982	678	857	398	174	153	167	46
1998		1,980	769	588	623	390	169	157	151	45
1999		1,496	596	391	509	371	166	144	155	46
2000		1,244	500	320	424	379	169	148	157	47
2001		1,031	391	275	365	378	162	147	161	47
2002		880	330	231	320	373	166	134	167	40
2003		775	313	210	253	374	167	140	144	40
2004		675	256	176	243	369	158	128	157	38
2005		626	243	165	218	396	171	156	162	40
2006		505	209	122	173	375	172	143	157	36
2007		433	175	110	148	371	166	152	150	37
2008		382	147	96	139	374	158	157	162	39
対前年比 2008/07 (%)		88.2	84.0	87.3	93.9	100.8	95.2	103.3	108.0	105.4
構成比 (%)		100.0	38.5	25.1	36.4					

資 料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年、参考数値）、
農林水産省生産局調査（2005年～）。

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).
National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～)。

(5) 都府県別養蚕農家数・桑使用面積・収繭量（2008年）

Farm households rising silk-worm, Harvested area of mulberry and Cocoon production by prefectures in 2008

項 目 Item 県 別 Each Prefecture	年 計 Annual total			春 繭 spring silk-worm		初秋繭 Early autumn silk-worm		晩秋繭 late autumn silk-worm	
	養 蚕 農家数	桑使用 面 積	収繭量	養 蚕 農家数	収繭量	養 蚕 農家数	収繭量	養 蚕 農家数	収繭量
	Farm households rising silk-worm	Harvested area of mulberry	Cocoon production	Farm households rising silk-worm	Cocoon production	Farm households rising silk-worm	Cocoon production	Farm households rising silk-worm	Cocoon production
	number	ha	t	number	t	number	t	number	t
岩 手 Iwate	29	30	11.0	22	2.8	21	4.0	26	4.2
宮 城 Miyagi	39	37	13.0	28	4.6	28	3.8	32	4.5
山 形 Yamagata	15	24	5.6	12	2.2	11	1.3	13	2.2
福 島 Fukushima	104	116	51.3	99	18.1	33	14.2	89	19.1
茨 城 Ibaragi	39	30	14.5	39	5.8	32	3.8	33	5.0
栃 木 Tochigi	50	86	39.4	48	14.8	35	7.4	46	17.2
群 馬 Gunma	417	471	161.2	383	63.2	249	40.9	370	57.2
埼 玉 Saitama	97	75	32.8	93	12.1	74	8.7	83	12.0
千 葉 Chiba	13	6	3.9	12	1.4	6	0.7	10	1.8
神奈川 Kanagawa	12	..	2.3	11	0.9	9	0.6	12	0.9
山 梨 Yamanashi	34	26	11.7	30	5.6	15	2.3	22	3.8
長 野 Nagano	46	32	13.2	42	5.4	37	3.4	35	4.4
岐 阜 Gifu	28	12	4.4	24	2.1	13	0.5	22	1.7
徳 島 Tokushima	23	10	4.6	22	2.4	13	1.0	16	1.2
愛 媛 Ehime	22	19	7.6	16	2.8	21	2.5	18	2.4
熊 本 Kumamoto	11	4	1.3	11	0.9	6	0.2	7	0.2
その他 Others	42	14	4.0	37	1.6	10	0.7	23	1.3
全国計 Total	1,021	992	381.8	929	146.7	613	96.0	857	139.1

資 料：農林水産省生産局調査。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(6) 蚕品種別蚕種製造数量 (2008年)

Production by Sort of Silk-worm Eggs

	2007年夏秋蚕用 for summer & autumn reeling		2008年春蚕用 for spring reeling		2008年夏秋蚕用 for summer & autumn reeling		合 計 Total	
	箱 box	割合 rate	箱 box	割合 rate	箱 box	割合 rate	箱 box	割合 rate
錦 秋 × 鐘 和	2,600	73.5			2,380	67.9	4,980	33.5
春 嶺 1 号 × 鐘 月 1 号			2,390	30.6	360	10.3	2,750	18.5
ぐ ん ま × 200	302	8.5	1,575	20.2	210	6.0	2,087	14.1
錦 秋 1 号 × 鐘 和 1 号			1,910	24.5			1,910	24.5
春 嶺 × 鐘 月			1,100	14.1			1,100	14.1
朝 ・ 日 × つくば・ね			100	1.3	500	14.3	600	4.0
新 小 石 丸	119	3.4	243	3.1			362	2.4
改 良 あ け ぼ の	180	5.1	80	1.0	50	1.4	310	2.1
世 ・ 紀 × 二 ・ 一	108	3.1	99	1.3			207	1.4
上 州 絹 星	101	2.9	101	1.3			202	1.4
ぐ ん ま 黄 金	14	0.4	125	1.6	3	0.1	142	1.0
芙 ・ 蓉 × つくば・ね	100	2.8					100	0.7
蚕 太			41	0.5			41	0.5
新 青 白	11	0.3	23	0.3			34	0.3
小 石 丸			24	0.3			24	0.3
合 計 Total	3,535	23.8	7,811	52.6	3,503	23.6	14,849	100.0

資 料：農林水産省生産局調査。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(7) 生糸需給及び絹糸、絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply and Demand Balance, Import/Export Balance of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数量	期末在庫数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
	Production (A)	Imports (B)	Exports (C)	Domestic Deliveries (D)	Ending Stocks (E)	Imports (F)	Exports (G)	Imports (H)	Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2002	6,521	31,702	—	37,265	25,955	28,089	124	12,248	6,843
2003	4,791	30,827	1,510	34,166	25,897	33,044	183	12,544	7,111
2004	4,387	26,008	12,500	29,585	14,207	29,774	331	13,127	7,274
2005	2,508	22,017	4,125	26,429	8,178	32,700	609	15,999	8,252
2006	1,956	19,974	—	20,752	9,356	31,524	568	12,964	7,578
2007	1,747	12,601	—	15,624	7,879	19,439	404	11,355	7,184
2008	1,588	15,031	—	20,115	4,584	22,636	466	11,654	7,126
生糸年度 Silk Year									
2002	5,953	30,510	—	35,462	26,794	28,150	154	11,747	6,986
2003	4,517	30,411	6,635	33,333	21,754	33,261	182	13,036	7,206
2004	3,868	20,154	11,500	27,002	7,274	30,204	565	14,130	7,286
2005	2,024	26,365	—	25,737	9,926	36,113	500	16,121	8,655
2006	1,794	13,394	—	16,873	8,241	21,561	534	10,730	7,152
2007	1,762	15,564	—	20,286	5,281	22,936	433	12,255	6,087
2007 - 12	146	885	—	1,369	8,080	1,667	21	1,125	721
2008 - 1	130	918	—	1,249	7,879	2,021	8	1,295	416
2	135	787	—	1,487	7,314	1,769	18	770	670
3	153	1,459	—	1,415	7,511	1,689	33	865	685
4	160	505	—	3,444	4,732	2,220	45	1,107	644
5	155	3,574	—	3,180	5,281	2,067	73	1,068	577
6	136	1,362	—	1,603	5,176	2,087	109	1,150	608
7	137	1,517	—	1,527	5,303	2,459	26	1,147	541
8	119	1,129	—	1,231	5,320	2,311	20	916	514
9	115	1,134	—	1,185	5,384	1,979	15	941	590
10	122	1,280	—	1,823	4,963	1,451	57	885	670
11	108	682	—	967	4,786	1,518	53	809	686
12	118	684	—	1,004	4,584	1,065	9	706	525
2009 - 1	101	1,004	—	1,115	4,574	1,281	5	1,090	400
08.6~09.1	956	8,792	—	10,455	4,574	14,151	294	7,644	4,534
07.6~08.1	1,159	9,239	—	10,760	7,879	15,191	264	8,445	4,638

資 料 : (A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局調査。(B) 財務省関税局調査、ただし96年1月から08年3月までの輸入は、農畜産業振興機構調査の実需者輸入分と一般者輸入分を合わせた数値。(F) (G) (H) (I) 財務省関税局調査。

備 考 : 1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量 + (A) + (B)} - {(C) + (E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : (A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(B) The Customs Bureau, Ministry of Finance. But the figures for raw silk imports have been based on data of the Agriculture & Livestock Industries Corporation since Jan. 1996 until Mar. 2008, excluding bonded silk.

(F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Domestic deliveries (D) = {Stock at end of the previous month + (A) + (B)} - {(C) + (E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(8) 生糸生産数量の推移

Production of Raw Silk

(単位 : 60kg俵)

(Unit : Bales of 60kg)

項 目 Item	生 糸 及 び 玉 糸 Raw Silk and Doupion Silk					繭品質評価機関 Cocoon Quality Grading Stations
	計 Total	器械製糸 Machine Reeling Mills	国用製糸 Domestic Raw Silk Reelers	及び &	器械玉糸 Machine Reeling Mills	
年 月 Year & Month						
暦 年 Calendar Year						
2002	6,521	5,617		904		・ ・
2003	4,791	4,000		791		・ ・
2004	4,387	3,634		753		・ ・
2005	2,508	1,735		773		・ ・
2006	1,956	1,417		539		・ ・
2007	1,747	1,227		520		・ ・
2008	1,588	1,193		395		・ ・
生糸年度 Silk Year						
2002	5,953	5,128		825		・ ・
2003	4,517	3,735		782		・ ・
2004	3,868	3,110		758		・ ・
2005	2,024	1,329		695		・ ・
2006	1,794	1,285		509		・ ・
2007	1,762	1,231		531		・ ・
2007 - 12	146	102		44		・ ・
2008 - 1	130	91		39		・ ・
2	135	91		44		・ ・
3	153	105		48		・ ・
4	160	115		45		・ ・
5	155	112		43		・ ・
6	136	106		30		・ ・
7	137	108		29		・ ・
8	119	91		28		・ ・
9	115	91		24		・ ・
10	122	99		23		・ ・
11	108	86		22		・ ・
12	118	98		20		・ ・
2009 - 1	101	83		18		・ ・
08.6~09.1	956	762		194		・ ・
07.6~08.1	1,159	808		351		・ ・

資 料 : 農林水産省生産局調査。

備 考 : 1. 生糸年度は6月から翌年5月までである。

2. kgを60kg俵に換算しているのので、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

Remarks : 1. Silk year ranges from June to May of the following year.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 生糸の織度別生産数量の推移

Raw Silk Production by Sizes

(単位 : 60kg俵)

(Unit : Bales of 60kg)

項目 Item 年 月 Year & Month	生 糸					
	計	18デニール以下	21デニール	27デニール	31デニール	その他
	Total	17/19or 17/19 finer	20/22	26/28	30/32	Others
暦 年						
Calendar Year						
2002	6,521	3	429	3,178	1,937	975
2003	4,791	13	343	2,865	1,038	533
2004	4,387	2	471	2,389	948	581
2005	2,508	8	337	834	799	527
2006	1,956	4	240	531	653	523
2007	1,747	5	259	495	514	474
2008	1,588	4	289	421	368	503
生糸年度						
Silk Year						
2002	5,953	8	316	3,273	1,649	706
2003	4,517	7	334	2,689	955	530
2004	3,868	4	482	1,845	918	622
2005	2,024	6	261	510	726	518
2006	1,794	4	269	480	562	475
2007	1,762	5	276	443	495	537
2007 — 12	146	1	13	38	42	52
2008 — 1	130	—	14	26	40	50
2	135	4	31	10	33	57
3	153	—	29	29	47	46
4	160	—	35	35	36	53
5	155	—	21	40	38	56
6	136	—	19	44	33	40
7	137	—	22	40	26	49
8	119	—	17	36	20	47
9	115	—	25	35	30	25
10	122	—	33	36	25	28
11	108	—	20	40	20	28
12	118	—	23	50	20	24
2009 — 1	101	1	23	34	28	16

資 料 : 農林水産省生産局調査。

備 考 : kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

Remarks : Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(10)生糸相場及び国産生糸価格実態

Raw Silk Quotations and Japanese Raw Silk Actual Condition Price

1 東京穀物商品取引所(生糸先物取引)

The Tokyo Grain Exchange (Raw Silk Futures Trading)

(1) 商況 State of Market

2 月：月初 2 日は、見送り気分強くバイカイで始まった。その後も値付けバイカイに終始した。この結果 2 日の 2 月限 2,861 円が月中の最高値段、5 月限から 7 月限 2,306 円が月中の最低値段となった。24 日の当月限納会は前日と同値の 2,861 円で納まり、受渡数量は無しとなった。25 日の新甫 8 月限は同軸の 2,306 円で発会して今月を終わった。

3 月：月初 2 日は、見送り気分強く値付けバイカイで始まり、3 月限が月中の最高値段 2,582 円、5 月限から 8 月限が月中の最低値段 2,306 円を記録した。その後も値付けバイカイに終始した。26 日の当月限納会は前日同値の 2,582 円と平穩に納まり、受渡しは無しとなった。翌 27 日の新甫 9 月限は同軸の 2,306 円で発会して今月を終わった。

(2) 先物約定値段 Monthly Prices of Futures Contracts Traded

単位：円/kg

	限月	始値	高値	(日)	安値	(日)	終値
2 月中	2 月限	2,861	2,861	(2)	2,861	(2)	2,861
	3 月限	2,582	2,582	(2)	2,582	(2)	2,582
	4 月限	2,443	2,443	(2)	2,443	(2)	2,443
	5 月限	2,306	2,306	(2)	2,306	(2)	2,306
	6 月限	2,306	2,306	(2)	2,306	(2)	2,306
	7 月限	2,306	2,306	(2)	2,306	(2)	2,306
	8 月限	2,306	2,306	(25)	2,306	(25)	2,306

	限月	始値	高値	(日)	安値	(日)	終値
3 月中	3 月限	2,582	2,582	(2)	2,582	(2)	2,582
	4 月限	2,443	2,443	(2)	2,443	(2)	2,443
	5 月限	2,306	2,306	(2)	2,306	(2)	2,306
	6 月限	2,306	2,306	(2)	2,306	(2)	2,306
	7 月限	2,306	2,306	(2)	2,306	(2)	2,306
	8 月限	2,306	2,306	(2)	2,306	(2)	2,306
	9 月限	2,306	2,306	(27)	2,306	(27)	2,306

(3) 出来高合計及び一日平均出来高 Total Trading Volume and Daily Average Volume 単位：枚/60 kg

	出来高合計	一日平均
2 月中	227	12
3 月中	251	12

(4) 受渡高 Delivery

単位：枚/300 kg

	早受渡	期日受渡	計
2 月中	0	0	0
3 月中	0	0	0

2 現物標準値の推移 Standard Price of Raw Silk

単位：円/kg

	東京市場 Tokyo Market		
	最高 High	最低 Low	平均 Average
平成 21 年 2 月	2,860	2,630	2,835
3 月	2,580	2,460	2,568

資料:(社)日本生糸問屋協会 Source:Japan Raw Silk Dealers Association

3 国産生糸価格実態 Japanese Raw Silk Actual Condition Price

単位：円/kg

織度 Size	21d	27d	31d
平成 20 年 1 月	4,579	3,813	3,504
2 月	4,226	3,630	3,532
3 月	3,997	3,565	3,445
4 月	4,373	3,625	3,459
5 月	4,059	3,750	3,431
6 月	4,325	3,761	3,479
7 月	4,173	3,795	3,577
8 月	4,481	3,741	3,499
9 月	4,386	3,794	3,540
10 月	4,363	3,885	3,539
11 月	4,140	3,809	3,461
12 月	4,087	3,883	3,403
平成 21 年 1 月	4,209	3,652	3,374

注：国産生糸価格実態は、調査対象生糸売買業者の平均取引価格である。

資料:(社)日本生糸問屋協会 Source:Japan Raw Silk Dealers Association

(11) 絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末 在庫 Ending Stocks ④
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import					二 次 The Second	輸 出 Export					内 需 Domestic Demand ②-③		
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	計 ③ Total		生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second				
1990	462	164	95	203	35	16	59	93	290	13	—	0	9	4	277	172
1991	494	172	92	230	46	29	62	93	327	11	0	0	7	4	316	167
1992	460	167	85	208	26	21	60	101	308	11	—	0	7	4	297	152
1993	483	152	71	260	25	38	65	132	345	11	—	0	7	4	334	138
1994	525	138	65	322	26	37	64	195	390	10	—	0	7	3	380	135
1995	515	135	54	326	30	31	61	204	377	11	0	1	8	2	366	138
1996	507	138	43	326	35	49	62	180	374	13	0	0	9	4	361	133
1997	401	133	32	236	34	35	43	124	270	14	0	0	11	3	256	131
1998	345	131	18	196	28	23	28	117	222	13	0	0	11	2	209	123
1999	361	123	11	227	41	28	31	127	242	13	0	0	11	2	229	119
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71
対前年比 2007/06 (%)	87.7	91.7	100.0	86.3	65.0	59.4	87.5	93.6	86.4	95.5	—	100.0	90.0	200.0	85.5	92.2

資 料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報より、農林水産省生産局がとりまとめたものである。

ただし、2000年以降は農林水産省生産局の協力により、日本生糸問屋協会が試算推計したものである。

Source：“Silk balance and price situation monthly”, “Trade Statistics”(arranged by Agricultural Production Bureau, MAFF)
After 2000, estimated by Raw Silk Dealer's Association through colaboration with Agricultural Production Bureau, MAFF.

(12) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total			う ち 器 械 製 糸 工 場 Machine Reeling Mills		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks	受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year							
	2002	1, 559	2, 150	775	1, 366	1, 822	708
	2003	1, 598	1, 612	761	1, 302	1, 330	679
	2004	1, 291	1, 500	553	1, 039	1, 228	489
	2005	866	830	589	540	552	478
	2006	600	646	541	405	445	436
	2007	548	581	505	345	390	391
	2008	393	518	379	296	374	311
生糸年度 Silk Year							
	2002	1, 921	1, 972	525	1, 764	1, 674	480
	2003	1, 477	1, 554	448	1, 162	1, 273	368
	2004	1, 056	1, 280	224	794	1, 008	154
	2005	839	673	390	531	419	266
	2006	562	599	349	405	410	260
	2007	502	583	266	344	388	215
	2007 — 12	68	48	505	−1	32	391
	2008 — 1	−1	43	461	−1	29	361
	2	−2	44	416	−2	28	332
	3	−8	52	356	−9	34	288
	4	14	51	319	0	35	253
	5	1	52	266	−1	36	215
	6	49	44	272	9	33	191
	7	117	45	343	104	34	260
	8	54	39	359	53	29	284
	9	28	37	350	27	28	283
	10	82	38	417	80	30	333
	11	60	36	486	36	28	342
	12	−1	37	379	−1	30	311
	2009 — 1	4	34	354	0	27	283

資 料：農林水産省生産局調査。

備 考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 総計は器械製糸、国用製糸、繭品質評価機関及び玉糸製糸の合計である。なお国用製糸及び玉糸製糸は乾繭重量調査のため、乾繭歩合42%にて生繭重量に換算した。

3. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

Remarks : 1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. The grand total includes the material cocoons at the machine-reeling mills, reelers of raw silk for domestic use, cocoon quality appraisal stations and doupion silk producers.

In addition, reelers of raw silk for domestic use and doupion silk producers reported in dry cocoon weight, which was converted into fresh by dividing by 42%.

3. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(13) 器械製糸工場の操業状況

Activities of Machine Reeling Mills

年 月 Year & Month	項 目 Item	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
			運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year							
2002		7	607	414	68	290	207
2003		6	444	285	64	290	173
2004		5	426	262	62	292	165
2005		2	203	126	62	269	83
2006		2	114	94	82	266	59
2007		2	112	93	83	266	57
2008		2	112	90	80	266	54
2007 —	2	2	112	93	83	21	60
	3	2	112	94	84	23	60
	4	2	112	93	83	23	56
	5	2	112	94	84	22	55
	6	2	112	92	82	23	55
	7	2	112	89	79	23	55
	8	2	112	92	82	21	55
	9	2	112	89	79	22	56
	10	2	112	92	82	24	60
	11	2	112	96	86	22	58
	12	2	112	94	84	22	57
2008 —	1	2	112	95	85	20	58
	2	2	112	94	84	22	57
	3	2	112	96	86	22	58
	4	2	112	100	89	23	60
	5	2	112	100	89	22	60
	6	2	112	95	85	23	60
	7	2	112	92	82	23	60
	8	2	112	91	81	21	56
	9	2	112	84	75	23	55
	10	2	112	87	78	24	55
	11	2	112	94	84	21	52
	12	2	112	90	80	22	54
2009 —	1	2	112	91	81	20	50

資 料：農林水産省生産局調査。

備 考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

Remarks : 1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(14) 生糸在庫数量の内訳

Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

項 目 Item	總 計	一 般 在 庫 Stock in markets					農畜産業振興機構 Stock of Agriculture & Livestock Industries Corporation		
		計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場 売買業者 Dealers	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出 入業者 Ex and Importers	受 入 数 量 Accepts	引 渡 数 量 Deliveries	在庫数量 Ending Stocks
年 月 Year & Month	Grand Total	Total	Filatures Mills	Dealers	Domestic Dealers	Ex and Importers	Accepts	Deliveries	Ending Stocks
曆 年 Calendar Year									
2002	25,955	5,932	1,358	605	3,772	197	31,702	31,809	20,023
2003	25,897	8,001	1,663	235	5,784	319	30,827	32,954	17,896
2004	14,207	10,082	2,055	183	7,360	484	26,008	39,779	4,125
2005	8,178	8,178	721	139	7,008	310	22,017	26,142	—
2006	9,356	9,356	446	50	8,606	254	19,974	19,974	—
2007	8,080	8,080	359	20	7,358	343	12,601	12,601	—
2008	4,584	4,584	310	15	3,536	723	1,459	1,459	—
生糸年度 Silk Year									
2002	26,794	6,771	1,837	445	4,207	282	30,510	30,617	20,023
2003	21,754	9,163	1,842	560	6,516	245	30,411	37,843	12,591
2004	7,274	7,274	1,636	50	5,170	418	20,154	32,745	—
2005	9,926	9,926	373	170	8,923	460	26,365	26,365	—
2006	8,241	8,241	473	20	7,564	184	13,394	13,394	—
2007	5,281	5,281	305	15	4,241	720			
2007 — 12	8,080	8,080	359	20	7,358	343	885	885	—
2008 — 1	7,879	7,879	350	15	7,193	321	918	918	—
2	7,314	7,314	327	10	6,607	370	787	787	—
3	7,511	7,511	321	15	6,774	401	1,459	1,459	—
4	4,732	4,732	310	15	3,664	743			
5	5,281	5,281	305	15	4,241	720			
6	5,176	5,176	299	15	4,100	762			
7	5,303	5,303	312	20	4,245	726			
8	5,320	5,320	310	15	4,126	869			
9	5,384	5,384	302	15	4,179	888			
10	4,963	4,963	312	15	3,799	837			
11	4,786	4,786	296	15	3,687	788			
12	4,584	4,584	310	15	3,536	723			
2009 — 1	4,574	4,574	322	15	3,461	776			

資 料：農林水産省生産局調査。

備 考：製糸工場は器械製糸、国用製糸、繭品質評価機関及び玉糸製糸の合計である。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

Remarks : Figures for filatures are the sum total of the closing stocks in machine-reeling filatures, reelers of raw silk for domestic use, cocoon quality appraisal stations and doupion reelers.

(15)蚕糸関係品目別輸入状況(平成16年～21年1月)

Breakdown of Silk-Related Products Imports (2004～Jan 2009)

	単位 Unit	平成21年(2009)		平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	平成18年 (2006)	平成17年 (2005)	平成16年 (2004)	20年/19年 2008/07 (%)
		(1月) Jan	(累計) Accumulated Total						
生糸・玉糸計 Raw Silk and Doupion Silk	俵 Bale s of 60kg	1,004	1,004	15,242	12,858	21,148	22,915	25,419	118.5
絹糸 Silk Yarn	俵 Bale s of 60kg	1,281	1,281	22,636	19,439	31,524	32,699	29,745	116.4
野蚕糸 Wild Raw Silk	俵 Bale s of 60kg	34	34	317	333	430	520	934	95.2
繭 Cocoon	kg	4,000	4,000	4,000	13,750	18,565	16,300	203,604	14.0
真綿 Floss Silk	kg	—	—	29,071	28,660	34,176	45,186	25,320	101.4
ペー二 Peigne	kg	5,548	5,548	2,770	6,336	19,760	15,068	14,952	43.7
くず繭 Waste Cocoon	kg	2,685	2,685	23,770	17,184	1,020	3,650	6,797	138.3
絹ノイル Silk Noil	kg	—	—	202,220	242,082	234,894	216,422	293,373	83.5
その他の絹 くず Other Silk Waste	kg	20,517	20,517	193,125	238,507	255,951	319,072	267,341	81.0
絹のくず計 Silk Waste Total	kg	28,750	28,750	450,956	532,769	545,801	878,398	607,783	84.6
絹紡糸 Spun silk yarn from silk waste other	kg	42,054	42,054	526,662	608,270	756,065	847,200	781,454	86.6
絹紡細糸 Spun silk yarn from noil silk	kg	11,209	11,209	143,585	117,265	208,913	202,901	244,557	122.4
絹織物 Silk Fabrics	m ²	1,090,116	1,090,116	11,540,335	11,355,333	12,989,059	15,999,327	13,127,009	101.6

資料：財務省関税局

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance

(16) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位 : 60 k g 俵)
(Unit : Bales of 60kg)

国名 Country	計	中国	ブラジル	ベトナム	タイ	その他
年 月 Year & Month	Total	China	Brazil	Vietnam	Thailand	Others
暦年 Calendar Year						
2006	21,148 (174)	14,740 (101)	6,181 (68)	5 (5)	222 (-)	-
2007	12,858 (149)	8,804 (124)	3,848 (25)	-	206 (-)	-
2008	15,242 (137)	11,024 (102)	4,101 (35)	-	117 (-)	-
生糸年度 Silk Year						
2006	13,460 (166)	8,385 (119)	4,454 (42)	5 (5)	174 (-)	-
2007	16,185 (93)	11,410 (69)	4,607 (24)	-	168 (-)	-
2007 - 3	713 (5)	336 (5)	377	-	-	-
4	896 (11)	686 (9)	209 (2)	-	-	-
5	877 (20)	712 (15)	161 (5)	-	4	-
6	1,191	878	313	-	-	-
7	798 (2)	619	179 (2)	-	-	-
8	1,253 (10)	947 (5)	272 (5)	-	34	-
9	1,289 (23)	933 (23)	308	-	48	-
10	1,890 (5)	1,005	863 (5)	-	22	-
11	1,443 (5)	1,109 (5)	307	-	27	-
12	868 (21)	623 (21)	220	-	25	-
2008 - 1	1,041 (8)	824	213 (8)	-	4	-
2	849 (5)	580	267	-	2	-
3	1,484 (14)	1,036 (10)	448 (4)	-	-	-
4	505	314	191	-	-	-
5	3,574 (29)	2,542 (20)	1,026 (9)	-	6	-
6	1,362 (5)	1,128	233 (5)	-	1	-
7	1,517 (21)	1,090 (21)	407	-	20	-
8	1,129 (29)	726 (15)	385 (14)	-	18	-
9	1,135 (21)	906 (21)	212	-	17	-
10	1,280	913	347	-	20	-
11	682 (5)	512	151 (5)	-	20	-
12	684 (10)	397 (10)	272	-	14	-
1	1,004	693	309	-	2	-

資料 : 財務省関税局調査

備考 : 1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance. But the figures for raw silk imports have been based on date of the Allic since Jan.1996 until Mar 2008.

Remarks : 1. Country volume may not add up the total volume due to round off.

2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(17) 絹糸の原産国別輸入数量
Silk Yarn Imports

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

国名 Country 年月 Year & Month		計 Total	韓 国 S Korea	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others			
暦 年 Calendar Year												
2005		32,700	292	18,977	7,550	7	—	5,867	6			
2006		31,524	94	17,019	8,706	27	—	5,675	3			
2007		19,439	21	11,726	4,743	12	1	2,930	7			
2008		22,636	30	12,513	6,865	12	—	3,204	12			
生糸年度 Silk Year												
2005		36,113	143	21,337	8,983	18	—	5,621	8			
2006		21,561	78	11,212	5,735	18	1	4,518	3			
2007		22,936	7	13,263	6,344	15	—	3,297	10			
2007	—	4	1,317	21	783	398	1	—	116	—		
		5	1,667	—	1,119	267	0	—	280	—		
		6	1,711	—	1,134	409	4	—	164	—		
		7	1,872	—	1,153	487	1	—	231	—		
		8	1,775	—	1,154	466	1	—	154	0		
		9	1,935	—	1,239	520	—	—	176	—		
		10	2,222	—	1,224	638	1	—	358	—		
		11	1,989	—	1,136	567	2	—	281	4		
		12	1,667	—	930	371	0.4	—	365	—		
		2008	—	1	2,021	—	1,236	447	0	—	338	0
				2	1,769	—	853	746	0	—	170	0
				3	1,689	7	871	418	1.0	—	390	2
4	2,220			—	1,187	660	5	—	366	2		
5	2,067			—	1,146	615	—	—	304	2		
6	2,087			23	1,302	600	—	—	161	1		
7	2,459			—	1,502	555	2	—	400	—		
8	2,311			—	1,275	753	1	—	282	—		
9	1,979			—	1,103	644	1	—	226	5		
10	1,451			—	781	462	—	—	208	—		
11	1,518			—	645	687	—	—	186	1		
12	1,065			—	609	279	2	—	174	1		
2009	—	1	1,281	—	842	278	—	159	2			

資 料：財務省関税局調査。

備 考：kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : Country volume may not add up the total volume due to round off.

(18) 織物生産数量

Fabric Production

(単位 : 1,000m²)

(Unit : 1,000sq. meters.)

年 月 Year & Month	項 目 Item	計 Total	綿織物 Cotton Fabrics	絹織物 Silk Fabrics	絹紡織物 Spun Silk Fabrics	合成繊維 織物 Synthetic Fiber Fabrics	人絹織物 Rayon Filament and Acetate Fabrics	ビスコース スフ織物 Viscose sta- ple fabrics	毛織物 Wool Fabrics	麻織物 Bast Fiber Fabrics
暦 年 Calendar Year										
2002		2,162,818	539,764	26,824	1,054	1,292,617	69,544	141,816	88,114	3,085
2003		2,031,053	506,696	23,940	728	1,217,413	71,711	129,178	78,071	3,318
2004		1,974,731	479,246	21,970	753	1,209,640	67,540	116,294	75,662	3,326
2005		1,837,703	425,460	19,816	579	1,146,845	66,231	101,235	72,531	5,006
2006		1,739,863	399,776	17,125	1,381	1,085,577	64,475	95,921	71,007	4,600
2007		1,699,291	367,733	14,262	1,204	1,096,107	63,714	85,308	67,590	3,372
2008		1,555,447	327,014	12,734	1,179	1,010,698	60,584	79,927	60,227	3,085
2007 —	2	142,640	32,550	1,238	96	89,908	5,223	8,030	5,356	240
	3	146,310	32,627	1,251	96	92,850	5,408	8,091	5,476	510
	4	143,211	31,386	1,241	95	91,268	5,240	7,960	5,640	382
	5	139,291	31,264	1,150	95	89,177	5,183	6,262	5,912	247
	6	143,181	31,427	1,275	98	91,959	5,338	6,963	5,922	200
	7	145,873	31,229	1,200	97	94,825	5,438	6,909	5,958	217
	8	135,738	28,823	1,036	93	88,065	5,167	6,445	5,949	161
	9	138,732	28,451	1,209	125	91,069	5,191	6,904	5,591	192
	10	145,544	29,580	1,181	111	96,040	5,567	6,863	5,974	228
	11	143,797	29,178	1,217	98	94,956	5,419	6,924	5,748	257
	12	141,698	29,412	1,196	101	93,350	5,368	6,652	5,184	436
2008 —	1	133,497	26,858	992	103	89,170	5,072	6,129	4,844	330
	2	140,032	28,237	1,193	97	92,787	5,473	7,220	4,799	225
	3	142,113	28,482	1,160	99	94,979	5,522	6,804	4,861	207
	4	140,452	28,121	1,093	96	93,616	5,555	6,518	5,100	351
	5	130,825	27,538	1,097	98	84,908	5,252	6,585	5,099	249
	6	132,071	27,348	1,155	101	85,497	5,301	6,916	5,548	205
	7	127,911	27,550	1,081	95	81,300	5,341	6,765	5,552	226
	8	118,624	25,934	929	88	75,333	4,665	6,394	5,100	182
	9	124,907	26,193	1,027	115	81,019	4,693	6,508	5,169	185
	10	125,539	27,062	1,007	105	80,677	4,705	6,675	5,077	232
	11	121,754	26,737	1,021	91	77,509	4,609	6,749	4,773	263
	12	117,723	26,955	979	91	73,903	4,397	6,663	4,304	430
2009 —	1	104,401	23,096	729	87	67,408	3,916	5,247	3,667	251

資 料 : 経済産業省調査。

備 考 : 交織を含む。

Source : The Ministry of Economy Trade and Industry.

Remarks : Mixed fabrics included.

(19) 絹人絹織物製造業者の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics by Silk and Rayon Weavers

(単位：1,000m²)

(Unit: 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crape	先 練 (先染) Dyed Yarn	
年 月 Year & Month									
暦 年 Calendar Year									
1997	52,031	19,104	9,311	5,764	4,029	20,614	15,998	4,616	12,313
1998	38,673	14,507	7,124	3,963	3,420	15,940	11,792	4,149	8,225
1999	33,425	11,032	5,360	2,877	2,796	15,745	11,562	4,182	6,649
2000	32,275	11,192	5,556	3,410	2,226	14,028	10,010	4,018	7,054
2001	29,801	10,933	5,518	3,365	2,049	12,664	8,842	3,822	6,205
2002	26,715	10,277	4,355	3,251	2,673	11,855	8,030	3,824	4,582
2003	23,822	8,371	3,800	2,464	2,107	11,399	7,653	3,747	4,053
2004	21,859	7,540	3,510	2,190	1,842	10,809	7,346	3,463	3,509
2005	19,698	6,664	2,965	1,903	1,800	10,181	6,900	3,280	2,852
2006	18,153	6,104	2,734	1,728	1,646	9,194	5,882	3,312	2,855
2007	15,182	5,214	2,276	1,547	1,392	7,575	4,578	2,997	2,392
2008	13,649	4,782	2,061	1,419	1,302	6,799	4,170	2,629	2,067
2007 — 2	1,312	427	193	123	111	679	422	256	206
3	1,329	449	200	133	115	658	394	264	222
4	1,317	443	198	125	120	664	409	256	210
5	1,225	440	192	124	124	585	337	248	200
6	1,354	461	194	139	129	683	428	255	210
7	1,276	445	186	138	121	647	391	256	184
8	1,108	392	169	124	99	554	315	239	162
9	1,286	427	187	134	106	661	423	238	197
10	1,262	423	189	122	111	629	377	252	210
11	1,297	451	191	132	127	645	399	245	201
12	1,274	435	187	136	112	639	400	238	200
2008 — 1	1,070	394	180	114	100	501	270	231	175
2	1,269	422	183	129	110	644	407	237	203
3	1,241	419	184	125	110	634	402	232	188
4	1,171	419	189	122	108	585	360	225	167
5	1,176	421	187	121	113	579	353	226	176
6	1,240	429	190	125	114	630	403	227	181
7	1,157	400	177	113	110	562	343	219	195
8	998	337	152	95	89	507	301	205	155
9	1,100	364	156	101	107	555	342	213	182
10	1,084	385	149	123	114	538	322	216	161
11	1,094	403	158	128	117	542	343	199	149
12	1,049	391	155	124	112	524	325	199	135
2009 — 1	790	283	109	92	83	395	209	186	111

資 料：経済産業省調査。

備 考：単位以下四捨五入。

Source : The Ministry of Economy Trade and Industry.

Remarks : Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(20) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項 目 Item 年 月 Year & Month	絹人絹織物製造業者の 絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2002	26,715	89.6	1,179,219	95.1	229,272	83.7	998,239	79.1
2003	23,822	89.2	1,171,145	99.3	208,660	91.0	922,533	92.4
2004	21,859	91.8	1,119,897	95.6	189,426	90.8	780,082	84.6
2005	19,698	90.1	1,058,571	94.5	170,061	89.8	691,780	88.7
2006	18,153	92.2	912,027	86.2	132,448	77.9	598,040	86.4
2007	15,182	83.6	712,560	78.1	97,204	73.4	977,719	163.5
2008	13,649	89.9	656,889	92.2	88,401	90.9	867,559	88.7
2007 — 2	1,312	80.0	65,785	72.5	8,987	64.5	108,331	173.5
3	1,329	78.0	58,873	64.9	9,660	68.0	80,785	150.1
4	1,317	79.2	62,535	70.1	8,840	63.1	84,654	142.4
5	1,225	79.6	50,444	66.2	7,760	56.3	71,255	139.4
6	1,354	82.4	69,024	77.2	7,169	70.0	84,513	180.8
7	1,276	83.3	61,873	80.3	7,237	69.3	88,894	169.1
8	1,108	82.2	47,776	81.9	6,078	68.9	89,497	211.9
9	1,286	87.4	69,062	92.9	8,439	111.1	70,350	203.0
10	1,262	87.5	58,668	84.8	9,400	100.7	60,982	161.7
11	1,297	94.5	63,195	97.0	8,207	93.1	78,005	154.9
12	1,274	93.0	62,144	89.7	8,097	89.9	67,462	144.6
2008 — 1	1,070	92.4	38,929	90.2	7,511	102.5	56,667	60.9
2	1,269	96.7	65,845	100.1	7,288	81.1	93,343	86.2
3	1,241	93.4	65,402	111.1	7,959	82.4	78,494	97.2
4	1,171	88.9	57,356	91.7	7,964	90.1	74,391	87.8
5	1,176	96.0	55,793	110.6	6,381	82.2	67,669	95.0
6	1,240	91.6	65,862	95.4	9,352	130.5	57,541	68.1
7	1,157	90.7	53,644	86.7	7,548	104.3	84,867	95.5
8	998	90.1	46,770	97.9	5,302	87.2	66,629	74.4
9	1,100	85.5	54,846	79.4	7,416	87.8	100,298	142.6
10	1,084	85.9	49,981	85.2	7,817	83.2	62,123	101.9
11	1,094	84.3	53,365	84.4	7,973	97.1	69,923	89.7
12	1,049	82.3	49,096	79.0	5,890	72.7	55,604	82.4
2009 — 1	790	73.8	27,931	71.7	5,428	72.3		
2			48,523	73.7	5,994	82.2		
3			43,968	67.2	6,664	83.7		

資 料 : 「絹人絹織物製造業者の絹織物生産数量」は経済産業省調査。主要3産地の生産量、出荷数量は社団法人日本生糸問屋協会調査。

備 考 : 2006年1月以降の西陣の帯生産数量には、帯裏地等を含む。

Source : The Ministry of Economy Trade and Industry and Japan Raw Silk Dealer's Association.

Remarks : Since Jan. 2006, sash livings are included in sash production.

(21)全国全世帯被服類品目別消費支出状況

Consumption Expenditures of Total Households

区分	消費支出総額Total		被服及び履物 Clothing & footwear		和服 Japanese clothing		洋服 Clothing		シャツ・セーター Shirts & sweaters		下着類Underwear	
	(円)	前年比 (%)	(円)	前年比 (%)	(円)	前年比 (%)	(円)	前年比 (%)	(円)	前年比 (%)	(円)	
2003年	302,623	▲ 1.1	13,967	▲ 4.1	520	21.2	5,478	▲ 4.0	2,889	▲ 2.7	1,272	▲ 4.9
2004年	304,203	0.5	13,572	▲ 2.8	559	10.5	5,257	▲ 3.5	2,936	0.9	1,213	▲ 4.7
2005年	300,903	▲ 1.1	13,440	▲ 1.0	440	▲ 7.8	5,122	▲ 2.6	2,911	▲ 0.9	1,260	3.9
2006年	294,943	▲ 2.0	12,776	▲ 1.0	342	▲ 7.8	5,007	▲ 2.6	2,694	▲ 0.9	1,184	3.9
2007年	297,782	1.0	12,933	1.2	345	0.9	5,066	1.2	2,727	1.2	1,164	▲ 1.7
2008年	296,932	▲ 0.3	12,523	▲ 3.2	299	▲ 13.3	4,890	▲ 3.5	2,598	▲ 4.7	1,133	▲ 2.7
2007年7月	291,632	▲ 0.1	13,234	▲ 3.0	391	▲ 14.7	4,692	▲ 0.5	3,341	▲ 6.7	1,231	▲ 9.8
8月	296,035	1.6	9,965	0.7	516	109.3	3,166	▲ 10.0	2,284	▲ 5.8	1,021	▲ 2.4
9月	281,448	3.2	9,858	▲ 4.0	199	▲ 31.0	3,579	▲ 4.0	2,125	▲ 7.0	986	3.0
10月	296,984	0.6	13,481	▲ 2.8	244	▲ 59.7	5,212	▲ 2.0	2,948	▲ 1.3	1,315	10.6
11月	282,836	▲ 0.6	14,292	▲ 0.5	504	185.8	5,773	▲ 9.0	2,692	0.1	1,460	10.9
12月	351,667	2.2	14,816	▲ 5.8	130	▲ 57.8	6,162	▲ 4.4	2,860	▲ 2.6	1,566	▲ 8.0
2008年1月	309,826	3.6	13,981	▲ 5.6	504	35.0	6,212	▲ 3.9	2,768	▲ 7.1	1,079	▲ 1.9
2月	275,565	0.0	10,215	▲ 2.7	308	▲ 41.6	4,351	▲ 6.4	1,864	▲ 1.9	894	11.2
3月	312,565	▲ 1.6	14,035	▲ 0.8	128	▲ 75.0	6,445	▲ 2.6	2,482	5.3	957	8.4
4月	310,695	▲ 2.7	12,778	▲ 4.1	86	▲ 52.5	4,965	▲ 7.7	2,509	▲ 3.9	984	▲ 2.5
5月	288,128	▲ 3.2	12,762	▲ 4.9	211	31.6	4,635	1.3	2,840	▲ 11.7	1,123	▲ 7.7
6月	281,951	▲ 1.8	11,894	▲ 13.8	123	▲ 70.1	4,206	▲ 10.0	2,934	▲ 16.7	1,081	▲ 19.8
7月	298,366	▲ 0.5	13,702	3.2	341	▲ 13.1	4,634	▲ 1.5	3,637	9.1	1,346	9.7
8月	291,154	▲ 4.0	9,945	▲ 0.5	769	48.6	3,124	▲ 1.5	2,259	▲ 0.7	1,060	4.1
9月	281,433	▲ 2.3	10,021	1.2	221	10.9	3,667	1.6	2,094	▲ 0.6	904	▲ 7.9
10月	291,504	▲ 3.8	12,755	▲ 6.0	393	61.9	4,807	▲ 8.5	2,697	▲ 8.2	1,120	▲ 14.6
11月	284,762	▲ 0.5	14,547	1.3	158	▲ 68.5	6,205	7.3	2,646	▲ 1.9	1,490	2.1
12月	336,976	▲ 4.6	13,644	▲ 8.4	346	168.6	5,429	▲ 12.2	2,449	▲ 14.7	1,558	▲ 0.5
2009年1月	291,440	▲ 5.9	13,679	▲ 1.4	337	▲ 32.6	6,371	4.0	2,528	▲ 7.1	1,034	▲ 4.4
2月	266,044	▲ 3.5	8,879	▲ 12.9	165	▲ 45.8	3,883	▲ 10.7	1,669	▲ 9.5	704	▲ 21.4

資料:総務省「家計調査報告」。2人以上で構成させる8,000世帯を集計。

備考:「被服及び履物」は右に並ぶ内訳4費目以外の費目も含む。年数値は月平均

(1)世界主要国の家蚕繭生産高

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2001年	2002年	2003年
		トン	トン	トン
日本	Japan	1,031	880	780
中国	China	512,708	545,497	480,774
インド	India	140,000	128,000	117,000
ベトナム	Vietnam	22,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	9,916	10,238	9,966
タイ	Thailand	3,473	3,473	10,500
ウズベキスタン	Uzbekistan	20,000	20,000	20,000
イラン	Iran	5,000	3,500	3,200
インドネシア	Indonesia	749	691	
トルコ	Turyey	47	100	169
ブルガリア	Bulgaria	52	50	0.3
ギリシャ	Greece	40	60	60
フィリピン	Philippines	17	28	23
主要国の計	Total	715,033	733,517	663,472

区 分		2004年	2005年	2006年
		トン	トン	トン
日本	Japan	683	626	505
中国	China	547,091	621,461	739,715
インド	India	120,000	126,000	135,000
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	8,005	7,146	8,051
タイ	Thailand	10,650	10,650	10,100
ウズベキスタン	Uzbekistan	20,000	20,000	20,000
イラン	Iran	3,200	2,543	
インドネシア	Indonesia			
トルコ	Turyey	169	170	350
ブルガリア	Bulgaria	20	42	65
ギリシャ	Greece	70	70	100
フィリピン	Philippines	22	14.4	16
主要国の計	Total	730,910	809,722	934,902

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド纖維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)の統計値を使用した。

注2 不明な数値は空欄とした。ただし、シェアの大きいベトナム、ウズベキスタンは、前者は2003年以降、後者は2002年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1Figures ofJapan are based on the data of the Agriculyural Production Bureau,MAFF.

Figures ofChina are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB),Ministry ofTextiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association(ABRASSEDA).

Others than these countries,based on the data of International SericultureCommission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2003) and Uzbekistan(since2002) are not reported,they are taken as the sane amount as previous year because they constitute high prpportion of total.

(2)世界主要国の家蚕生糸生産高

Domesticated Raw Silk Production in Major Countries

区 分		2001年		2002年		2003年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	431	7,200	391	6,500	287	4,800
中国	China	62,560	1,042,700	73,585	1,226,400	83,763	1,396,100
インド	India	15,842	264,000	14,617	243,600	13,970	232,800
ベトナム	Vietnam	2,000	33,300	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,484	24,700	1,607	26,800	1,563	26,100
タイ	Thailand	1,500	25,000	1,500	25,000	1,500	2,500
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,100	18,300	1,100	18,300	1,100	18,300
イラン	Iran	770	12,800	630	10,500	500	8,300
インドネシア	Indonesia	110	1,800	91	1,500		
トルコ	Turkey	7	100	17	300	28	500
ブルガリア	Bulgaria	7	100	7	100	0	0
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1	0	3	100	3	100
主要国の計	Total	85,816	1,430,100	95,802	1,596,700	104,968	1,727,100

区 分		2004年		2005年		2006年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	263	4,400	151	2,500	119	2,000
中国	China	80,231	1,337,200	87,761	1,462,700	93,105	1,552,000
インド	India	14,620	243,700	15,445	257,400	16,525	275,400
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,512	25,200	1,285	21,400	1,387	23,100
タイ	Thailand	1,420	23,700	1,420	23,700	1,080	18,000
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,100	18,300	1,100	18,300	1,100	18,300
イラン	Iran	500	8,300	395	6,600		
インドネシア	Indonesia						
トルコ	Turkey	28	500	30	500	25	400
ブルガリア	Bulgaria	3	100	6	100	5	100
ギリシャ	Greece	4.5	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	3	100	1.1	0	1.6	0
主要国の計	Total	101,935	1,699,100	109,848	1,830,800	115,602	1,926,900

注1 日本は農林水産省特産振興課、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会(ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会(ISC)の統計値を使用した。

注2 不明な数値は空欄とした。ただし、シェアの大きいベトナム、ウズベキスタンは、前者は2003年以降、後者は2002年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2003) and Uzbekistan (since 2002) are not reported, they are taken as the same amount as previous year because they constitute high proportion of total.

(3) 中国省別桑園面積・家蚕繭生産量・生糸生産量・製糸工場数

Mulberry Farm Area, Domesticated Cocoon Production, Raw Silk Production, and Number of Filatures in China

省 Province	区分	桑園面積 Mulberry Farm Area (10,000ha, %)			家蚕繭生産量 Domesticated Cocoon Production (トン、%)(MT, %)			生糸生産量 Raw silk Production (トン、%)(MT, %)		
		2005	2006	対前年比 2006/05	2005	2006	対前年比 2006/05	2005	2006	対前年比 2006/05
山 西	Shanxi	0.82	1.10	135	3,913	5,602	143	196	175	89
上 海	Shanghai	0.03	-	-	408	-	-	-	-	-
江 蘇	Jiangsu	9.08	8.98	99	100,539	117,800	117	18,580	20,186	109
浙 江	Zhejiang	7.04	7.40	105	74,838	85,122	114	20,530	19,051	93
安 徽	Anhui	4.67	5.47	117	33,900	37,596	111	3,890	4,038	104
江 西	Jiangxi	1.63	1.90	116	10,577	12,110	114	1,650	1,676	102
山 東	Shandong	5.00	5.00	100	36,845	39,700	108	6,800	6,253	92
河 南	Henan	2.20	2.73	124	8,600	13,390	156	300	318	106
湖 北	Hubei	2.53	2.79	110	13,583	15,706	116	650	536	83
湖 南	Hunan	0.61	0.69	112	3,663	4,100	112	45	50	111
広 東	Guangdong	2.53	5.33	211	34,300	68,750	200	1,100	1,138	103
広 西	Guangxi	9.40	12.00	128	148,460	185,000	125	6,600	8,020	122
重 慶	Chongqing	7.93	7.93	100	31,000	23,828	77	6,500	6,490	100
四 川	Sichuan	10.67	10.67	100	77,500	77,800	100	17,510	21,914	125
貴 州	Guizhou	0.58	0.63	108	1,199	1,254	105	-	-	-
雲 南	Yunnan	5.27	6.25	119	20,095	31,477	157	1,550	1,335	86
陝 西	Shaanxi	4.80	5.00	104	20,272	18,498	91	1,775	1,657	93
甘 肅	Gansu	0.62	0.65	104	537	613	114	-	-	-
寧 夏	Ningxia	0.28	0.33	120	413	475	115	30	59	197
新 疆	Xinjiang	0.50	0.73	145	819	895	109	55	-	-
内 蒙 古	Inner Mong	-	-	-	-	-	-	-	208	-
合 計	Total	76.20	85.57	112	621,461	739,715	119	87,761	93,105	106

製糸工場数 (件) Number of Filatures		
2005	2006	前年比 2006/05
702	710	101

資料：中国絲綢協会資料による

注：合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(4) 中国省別家蚕繭生産量の推移 Domesticated Cocoon Production in China (1995年～2006年)

(単位: 万トン) (Unit: 10,000ton)

地域	Area	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	前年比 06/05(%)
北 京	Beijing													
天 津	TianJin													
河 北	Hebei	0.1	0.1		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				
山 西	Shanxi	0.7	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.6	150.0
内 蒙 古	Inner Mongolia													
遼 寧	Liaoning													
吉 林	Jilin													
黒 龍 江	Heilongjiang													
上 海	Shanghai	0.3									0.0	0.0		
江 蘇	Jiangsu	18.6	9.2	8.6	8.5	8.2	9.0	10.1	11.9	10.7	11.1	10.1	11.8	116.8
浙 江	Zhejiang	12.2	8.4	9.5	10.4	9.4	9.5	11.0	9.9	7.9	7.6	7.5	8.5	113.3
安 徽	Anhui	4.0	2.4	2.4	2.5	2.1	2.5	2.7	2.8	2.6	2.7	3.4	3.8	111.8
福 建	Fujian													
江 西	Jiangxi	1.6	0.8	0.5	0.4	0.3	0.3	0.5	0.7	0.8	1.0	1.1	1.2	109.1
山 東	Shandong	5.0	4.1	3.4	4.2	4.2	5.3	6.9	6.9	6.7	3.5	3.7	4.0	108.1
河 南	Henan	1.8	1.3	1.3	0.6	1.2	1.3	1.5	1.7	1.1	0.7	0.9	1.3	144.4
湖 北	Hubei	2.2	1.2	1.2	1.4	1.4	1.2	1.2	1.3	1.2	1.1	1.4	1.6	114.3
湖 南	Hunan	0.3	0.2	0.1	0.1			0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	100.0
広 東	Guangdong	3.3	2.2	2.1	2.1	2.3	3.1	4.5	5.3	5.2	2.7	3.4	6.9	202.9
広 西	Guangxi	2.1	1.7	1.5	1.8	1.9	3.0	5.6	7.4	8.7	9.2	14.8	18.5	125.0
海 南	Hainan													
重 慶	Chongqing				2.9	2.4	3.0	3.2	3.4	2.8	2.6	3.1	2.4	77.4
四 川	Sichuan	20.3	12.2	8.5	9.3	8.1	8.7	9.2	9.3	9.3	8.3	7.8	7.8	100.0
貴 州	Guizhou	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	100.0
雲 南	Yunnan	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.9	1.1	1.3	1.9	2.0	3.1	155.0
チベット	Tibet													
陝 西	Shaanxi	1.8	1.5	1.4	1.6	1.5	1.5	1.6	1.7	1.9	1.6	2.0	1.8	90.0
甘 肅	Gansu										0.1	0.1	0.1	100.0
青 海	Qinghai													
寧 夏	Ningxia										0.0	0.0	0.0	
新 疆	Xinjiang	0.6	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	100.0
合 計	Total	76.0	47.1	42.3	47.5	44.7	50.1	60.2	64.5	61.1	55.0	62.2	73.9	118.8

資料: 2003年までは中国国家统计局「中国統計年鑑」、2004年以降は中国絲綢協会資料による。

合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: Until 2003, "China Statistical Yearbook" National Bureau of Statistics of China

Since 2004, China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(5) 中国のシルク類の輸出状況
Silk Exports of China

(2007年1月～12月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2007年実績	07/06(%)	2007年実績	07/06(%)
1 インド	India	8,761,294	257.50	207,499	219.07
2 イタリア	Italy	984,361	85.90	26,280	76.46
3 韓国	South Korea	904,656	143.26	24,108	122.35
4 日本	Japan	776,997	123.68	21,534	96.31
5 ルーマニア	Romania	489,511	—	12,194	—
6 ベトナム	Vietnam	482,640	155.90	11,992	115.11
7 パキスタン	Pakistan	262,751	141.70	6,231	122.95
8 バングラデシュ	Bangladesh	232,782	342.63	5,454	297.22
9 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	227,815	546.76	5,523	459.87
10 タイ	Thailand	77,551	396.86	2,064	373.24
11 その他	Others	552,798	197.73	14,239	174.45
合計	Total	13,753,156	204.91	337,118	169.93

相手国	Country	絹糸 Spun Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2007年実績	07/06(%)	2007年実績	07/06(%)
1 イタリア	Italy	689,599	80.35	20,953	75.19
2 ドイツ	Germany	502,424	109.64	17,232	105.11
3 インド	India	477,188	109.61	12,711	89.75
4 日本	Japan	446,723	58.08	13,973	48.77
5 パキスタン	Pakistan	370,953	114.06	10,268	101.93
6 タイ	Thailand	121,009	91.61	3,557	83.28
7 韓国	South Korea	116,707	200.41	3,745	194.04
8 トルコ	Turkey	42,935	133.41	1,729	143.72
9 インドネシア	Indonesia	35,227	136.63	0,904	110.78
10 ブラジル	Brasil	28,062	—	0,863	—
11 その他	Others	147,452	151.91	5,025	147.71
合計	Total	2,978,279	93.32	90,960	83.62

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics(>85%Silk)			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2007年実績	07/06(%)	2007年実績	07/06(%)
1 インド	India	73,950,336	136.02	172,531	124.92
2 イタリア	Italy	30,886,756	110.71	105,778	105.53
3 香港	Hong Kong	26,520,128	115.26	114,749	118.97
4 パキスタン	Pakistan	20,306,364	75.91	41,563	77.57
5 韓国	South Korea	19,590,513	85.01	73,636	86.47
6 日本	Japan	12,961,633	88.53	33,084	83.48
7 アメリカ	United States	8,833,028	89.97	51,711	93.50
8 シンガポール	Singapore	7,608,011	53.18	15,869	38.34
9 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	5,370,503	104.27	16,772	99.96
10 フランス	France	4,562,695	103.47	17,175	109.10
11 その他	Others	24,301,715	88.31	86,515	90.14
合計	Total	234,891,682	101.72	729,383	98.79

資料: 中国税関
Source: Customs General Administration in China

中国のシルク類の輸出状況
Silk Exports of China

(2008年1月～12月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2008年実績	08/07(%)	2008年実績	08/07(%)
1 インド	India	8,376,916	95.61	198,655	95.74
2 ルーマニア	Romania	1,122,194	229.25	30,163	247.36
3 イタリア	Italy	829,113	84.23	23,391	89.00
4 日本	Japan	662,460	85.26	19,222	89.26
5 ベトナム	Vietnam	628,784	130.28	16,504	137.62
6 韓国	South Korea	561,080	62.02	14,868	61.67
7 パキスタン	Pakistan	246,913	93.97	5,794	92.99
8 バングラデシュ	Bangladesh	193,213	83.00	4,502	82.55
9 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	154,721	67.92	3,735	67.63
10 タイ	Thailand	77,128	99.45	2,000	96.87
11 その他	Others	578,870	104.72	14,901	104.65
合計	Total	13,431,394	97.66	333,735	99.00

相手国	Country	絹糸 Spun Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2008年実績	08/07(%)	2008年実績	08/07(%)
1 イタリア	Italy	916,759	132.94	28,804	137.47
2 日本	Japan	627,903	140.56	20,108	143.90
3 インド	India	542,905	113.77	14,939	117.53
4 パキスタン	Pakistan	416,968	112.40	11,742	114.35
5 ドイツ	Germany	395,690	79.76	13,803	80.10
6 タイ	Thailand	211,670	174.92	6,409	180.18
7 トルコ	Turkey	63,941	148.93	2,429	140.48
8 インドネシア	Indonesia	48,415	137.44	1,315	145.49
9 韓国	South Korea	43,601	37.36	1,485	39.64
10 香港	Hong Kong	30,381	828.27	0,960	791.71
11 その他	Others	107,761	62.71	3,921	96.88
合計	Total	3,405,994	114.36	105,915	116.44

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics(>85%Silk)			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2008年実績	08/07(%)	2008年実績	08/07(%)
1 インド	India	58,533,788	79.44	139,041	79.72
2 イタリア	Italy	44,916,778	138.52	144,278	131.10
3 香港	Hong Kong	27,767,378	94.40	122,817	97.18
4 パキスタン	Pakistan	20,415,584	99.70	41,814	99.23
5 韓国	South Korea	20,317,354	97.82	79,553	102.23
6 日本	Japan	13,594,742	99.07	37,482	103.06
7 アメリカ	United States	8,349,317	88.03	48,281	86.79
8 シンガポール	Singapore	7,180,679	93.89	19,236	79.86
9 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	6,901,548	124.54	22,457	70.65
10 マレーシア	Malaysia	6,756,442	186.33	23,028	200.41
11 その他	Others	34,603,876	121.03	125,775	120.81
合計	Total	249,337,487	101.22	803,762	104.13

資料: 中国税関
Source: Customs General Administration in China

(6)ブラジルの繭・生糸生産量推移

Cocoon and Raw Silk Production in Brazil

シルク年度 Silk Year (9～8月) (Sep-Aug)	繭生産量 Cocoon Production (トン)(Ton)	暦年 Calendar Year	生糸生産量 Raw Silk Production (kg)	生糸生産量 Raw Silk Production (俵換算) (Bale value)
1985/86	11,353	1985	1,553,776	25,896
1986/87	10,575	1986	1,663,976	27,733
1987/88	11,830	1987	1,658,375	27,640
1988/89	11,470	1988	1,748,996	29,150
1989/90	15,829	1989	1,696,622	28,277
1990/91	17,221	1990	1,693,206	28,220
1991/92	17,586	1991	2,077,155	34,619
1992/93	19,134	1992	2,296,053	38,268
1993/94	18,260	1993	2,325,809	38,763
1994/95	16,260	1994	2,535,440	42,257
1995/96	15,368 (95%)	1995	2,467,524 (97%)	41,125
1996/97	14,811 (96%)	1996	2,242,000 (91%)	37,367
1997/98	14,594 (99%)	1997	2,120,129 (95%)	35,335
1998/99	10,305 (71%)	1998	1,820,745 (86%)	30,346
1999/2000	8,473 (82%)	1999	1,553,722 (85%)	25,895
2000/01	9,916 (117%)	2000	1,389,356 (89%)	23,156
2001/02	10,238 (103%)	2001	1,484,905 (107%)	24,748
2002/03	9,966 (97%)	2002	1,607,485 (108%)	26,791
2003/04	8,005 (80%)	2003	1,562,563 (97%)	26,043
2004/05	7,146 (89%)	2004	1,512,133 (97%)	25,202
2005/06	8,051 (113%)	2005	1,284,510 (85%)	21,409
2006/07	8,617 (107%)	2006	1,387,289 (108%)	23,121
2007/08	6,266 (73%)	2007	1,219,562 (88%)	20,326
2008/09 〔見込み〕 〔Estimate〕	5,703 (91%)	2008 〔見込み〕 〔Estimate〕	1,223,305 (100%)	20,388

資料:ブラジル製糸協会

注:()内は対前年比

〔 〕内の見込みは2008年1月現在

Source: ABRASSEDA

Note: Figures in parenthesis are compared to the previous year.

Estimates are as of January 2008.

(7) ブラジル生糸、絹撚糸及び副蚕糸の内需・輸出別販売状況

Domestic Demand and Exports of Raw Silk, Twisted Silk Yarn, and Secondary Silk Yarn in Brazil

単位：トン、()内は60kg俵
Unit: ton, Figures in Parenthesis: Bales of 60kg

区分		2003年実績	2004年実績	2005年実績	2006年実績	2007年実績	2008年予測 forecast	08/07 (%)
生糸 Raw Silk	内需 Domestic Demand	90 (1,503)	106 (1,770)	118 (1,971)	72 (1,202)	84 (1,403)	89 (1,486)	106.0
	輸出 Export	1,057 (17,652)	837 (13,978)	676 (11,289)	782 (13,059)	876 (14,629)	847 (14,145)	96.7
	計 Total	1,147 (19,155)	943 (15,748)	794 (13,260)	854 (14,262)	960 (16,032)	936 (15,631)	97.5
絹撚糸 Twisted Silk Yarn	内需 Domestic Demand	77 (1,286)	71 (1,186)	92 (1,536)	74 (1,236)	78 (1,303)	88 (1,470)	112.8
	輸出 Export	431 (7,198)	516 (8,617)	454 (7,582)	392 (6,546)	274 (4,576)	276 (4,609)	100.7
	計 Total	508 (8,484)	587 (9,803)	546 (9,118)	466 (7,782)	352 (5,878)	364 (6,079)	103.4
糸類計 Total	内需 Domestic Demand	167 (2,789)	177 (2,956)	210 (3,507)	146 (2,438)	162 (2,705)	177 (2,956)	109.3
	輸出 Export	1,488 (24,850)	1,353 (22,595)	1,130 (18,871)	1,174 (19,606)	1,150 (19,205)	1,123 (18,754)	97.7
	計① Total①	1,655 (27,639)	1,530 (25,551)	1,340 (22,378)	1,320 (22,044)	1,312 (21,910)	1,300 (21,710)	99.1
副蚕糸 Secondary Silk Yarn	内需 Domestic Demand	264	123	43	84	72	64	88.9
	輸出 Export	217	386	295	241	256	253	98.8
	計② Total②	481	509	338	325	328	317	96.6
	②/①	29.1	33.3	25.2	24.6	25.0	24.4	

資料：ブラジル製糸協会

注：俵換算は、合計で一致しない場合がある。

Source: ABRASSEDA

Note: Bale value may not add up.

※「シルクレポート」の主要記事と統計データは、当支援センターのホームページでもご覧になれます。

<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

シルクレポート 2009 年 5 月号 NO.6 平成 21 年 5 月 1 日発行

編集 / 発行
(問い合わせ先)

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター
〒 100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 5 階
TEL : 03-3214-3500
FAX : 03-3214-3511
URL:<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

製本 / 印刷 株式会社 正大印刷社

無断転載禁ず